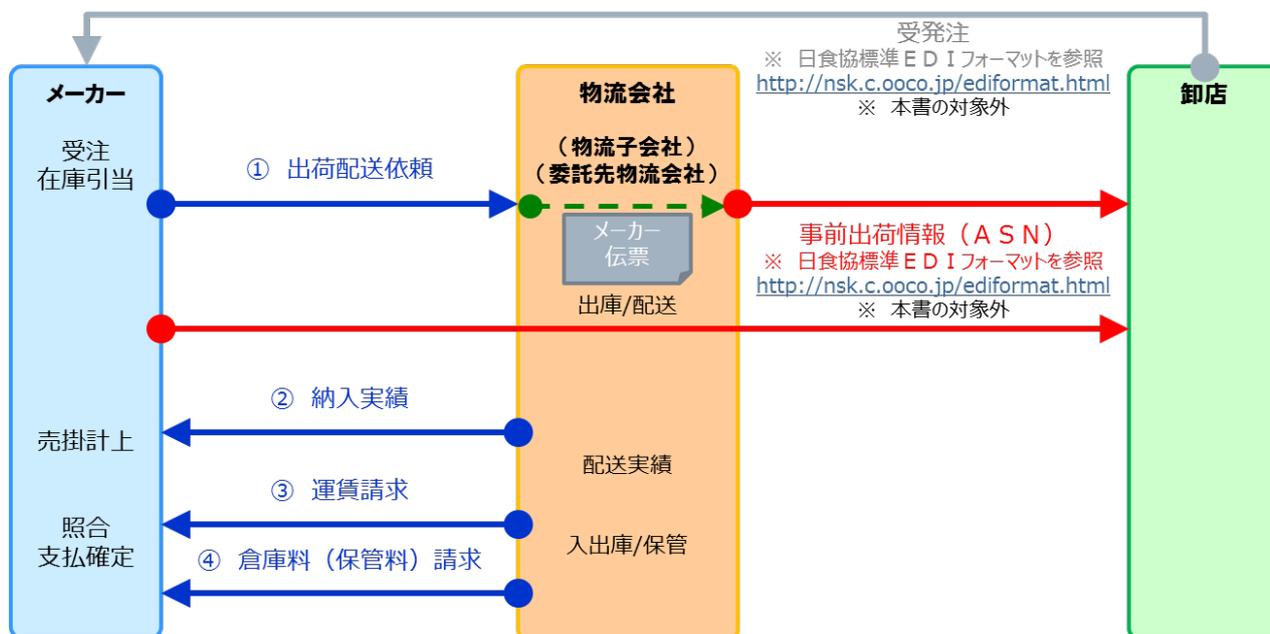




# 目次

I. 全体概要	3
1. 標準化によるメリット(主に物流会社)	3
2. EDIによるメリット(主にメーカー)	3
II. 出荷配送依頼データ	4
1. 出荷配送依頼データとは	4
2. レコードの種類と主な項目	4
3. レコードの作成イメージ	5
4. フォーマットおよび使用ガイド	6
III. 納入実績データ	21
1. 納入実績データとは	21
2. レコードの種類と主な項目	21
3. レコードの作成イメージ	22
4. フォーマットおよび使用ガイド	23
IV. 運賃請求データ	37
1. 運賃請求データとは	37
2. レコードの種類と主な項目	37
3. レコードの作成イメージ	38
4. フォーマットおよび使用ガイド	39
V. 倉庫料(保管料)請求データ	55
1. 倉庫料(保管料)請求データとは	55
2. レコードの種類と主な項目	55
3. レコードの作成イメージ	56
4. フォーマットおよび使用ガイド	57

## I. 全体概要



昨今、多くのメーカーは、得意先への納品に関わる物流業務について、外部の物流事業者等に委託しています。メーカー/物流会社間でのデータ交換(EDI)についても、全体最適の観点から標準的なデータフォーマットの利用が望まれます。

各社固有のデータフォーマットではなく、標準データフォーマットを使うことでお互いに相手企業ごとの変換処理が削減され、業務効率化とコスト削減に寄与します。多くの企業が標準データフォーマットを利用することにより、そのメリットが最大化されます。

酒類・加工食品業界標準化推進会議<sup>※</sup>(事務局：ファイネット)では、2015年9月、メーカー/物流会社間の標準データフォーマットを制定し、広く業界内でご利用いただけるよう普及推進に取り組んでいます。

※ 酒類・加工食品業界標準化推進会議

2003年発足、メーカー22社、卸店8社の有志企業の参加により、企業間データ交換における標準化検討/推進に取り組む会議体です。

### 1. 標準化によるメリット(主に物流会社)

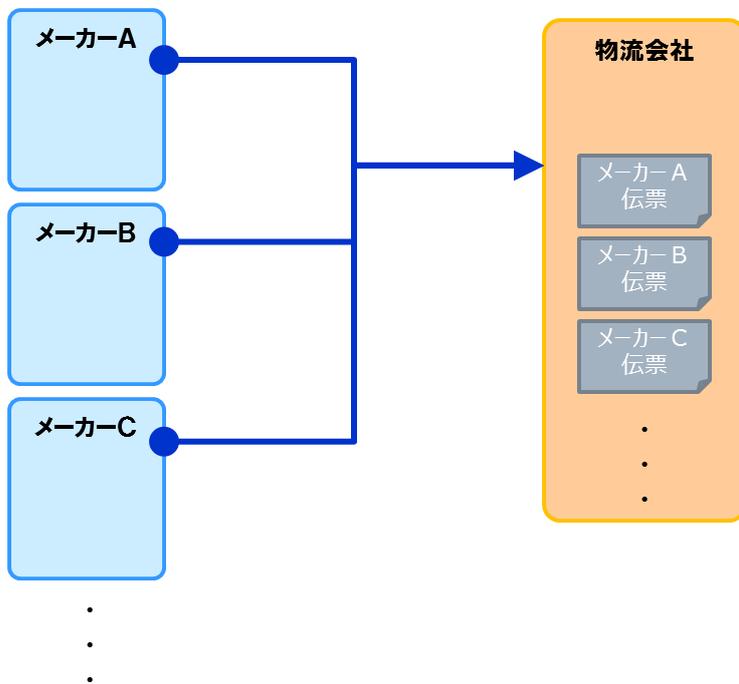
- 業務の効率化や無駄な投資を抑制
  - － 無駄な投資を抑制し、限られた資源を有効活用できる
  - － 新たな相手先が増えたとしても、お互いが同じルールを採用することにより、最も少ない投資で短期間に情報のやり取りが実現できる
  - － 相手先に広げれば広げるほど、投資対効果が上昇する

### 2. EDIによるメリット(主にメーカー)

- システム連係により、業務効率が大幅にアップ
  - － 業務によっては、自動化できる
  - － 特に照合業務は、データ突合であるので精度も含めて大幅に改善する
  - － 貴社だけではなく、相手先を含めたお互いの業務の効率化が図られる

## II. 出荷配送依頼データ

### 1. 出荷配送依頼データとは

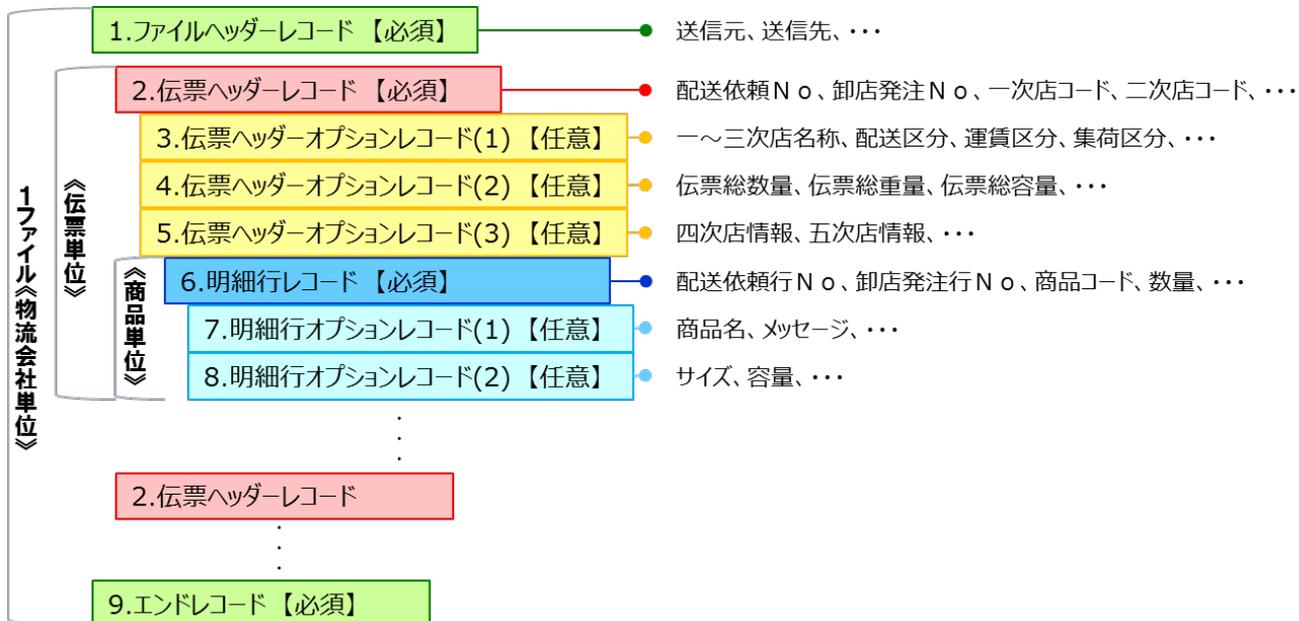


メーカー(発荷主)から物流会社に対して、取引先への出荷配送や集荷を依頼する際、届け先、商品、数量等を指定する。

これにより、受信する物流会社にて「メーカー伝票」が作成できる。

出荷配送依頼データの折り返しとなる「納入実績データ」と合わせて、実績管理が容易になる。

### 2. レコードの種類と主な項目



### 3. レコードの作成イメージ

1ファイル目【物流会社単位】

1. ファイルヘッダーレコード

2. 伝票ヘッダーレコード

- 3. 伝票ヘッダーオプションレコード(1)
- 3. 伝票ヘッダーオプションレコード(1)
- 3. 伝票ヘッダーオプションレコード(1)
- 4. 伝票ヘッダーオプションレコード(2)

1件目伝票情報【伝票単位】

- 【1商品単位】
- 6. 明細行レコード
    - 7. 明細行オプションレコード(1)
    - 8. 明細行オプションレコード(2)
  - 6. 明細行レコード
    - 7. 明細行オプションレコード(1)
    - 8. 明細行オプションレコード(2)
  - 6. 明細行レコード
    - 7. 明細行オプションレコード(1)
    - 8. 明細行オプションレコード(2)
  - 6. 明細行レコード
    - 7. 明細行オプションレコード(1)
    - 8. 明細行オプションレコード(2)
  - 6. 明細行レコード
    - 7. 明細行オプションレコード(1)
    - 8. 明細行オプションレコード(2)
  - 6. 明細行レコード
    - 7. 明細行オプションレコード(1)
    - 8. 明細行オプションレコード(2)

2件目伝票情報【伝票単位】

2. 伝票ヘッダーレコード

- 3. 伝票ヘッダーオプションレコード(1)
- 3. 伝票ヘッダーオプションレコード(1)
- 3. 伝票ヘッダーオプションレコード(1)

- 【1商品単位】
- 6. 明細行レコード
    - 7. 明細行オプションレコード(1)
  - 6. 明細行レコード
    - 7. 明細行オプションレコード(1)
  - 6. 明細行レコード
    - 7. 明細行オプションレコード(1)
  - 6. 明細行レコード
    - 7. 明細行オプションレコード(1)

3件目伝票情報【伝票単位】

2. 伝票ヘッダーレコード

- 3. 伝票ヘッダーオプションレコード(1)
- 3. 伝票ヘッダーオプションレコード(1)
- 3. 伝票ヘッダーオプションレコード(1)

- 【1商品単位】
- 6. 明細行レコード
    - 7. 明細行オプションレコード(1)
  - 6. 明細行レコード
    - 7. 明細行オプションレコード(1)

4件目伝票情報【伝票単位】

2. 伝票ヘッダーレコード

- 3. 伝票ヘッダーオプションレコード(1)
- 3. 伝票ヘッダーオプションレコード(1)
- 3. 伝票ヘッダーオプションレコード(1)
- 4. 伝票ヘッダーオプションレコード(2)

- 【1商品単位】
- 6. 明細行レコード
    - 7. 明細行オプションレコード(1)
  - 6. 明細行レコード
    - 7. 明細行オプションレコード(1)

⋮

9. エンドレコード

## 4. フォーマットおよび使用ガイド

出荷配送依頼データ	1. ファイルヘッダーレコード	【必須】
-----------	-----------------	------

条件欄 ◎：必須 ○：選択必須 △：任意

No	Content	条件	Col	Pic-ture	For-mat	Len-gth	Description
1	レコード区分	◎	1	X(01)	CH	1	レコードの種類を表わす「1」
2	データシリアルNo.	◎	2	9(07)	ZD	7	ファイルヘッダー単位に'0000001'より付番(連番)
3	データ種別	◎	9	X(02)	CH	2	「7B」固定(出荷配送依頼)
4	データ作成日付	◎	11	X(06)	CH	6	提供企業がデータをファイルに入力した日付
5	データ作成時刻	△	17	X(06)	CH	6	提供企業がデータをファイルに入力した時刻
6	ファイルNo.	◎	23	X(02)	CH	2	同時送信時の複数ファイル区別のkey'01'よりスタート
7	データ処理日	◎	25	X(06)	CH	6	提供者のデータ処理日
8	利用者企業コード (受け手)	◎	31	X(12)	CH	12	データの宛先
9	データ送信元センターコード	◎	43	X(06)	CH	6	データを提供する企業のコード及びセンターのコード
10	'' (予備)	△	49	X(02)	CH	2	予備
11	最終送信先コード	◎	51	X(06)	CH	6	データを受け取る最終の企業コード
12	最終送信先 ステーションアドレス	◎	57	X(02)	CH	2	内容は任意
13	直接送信宛先企業コード	○	59	X(06)	CH	6	中継センターの企業コード
14	'' (ステーションアドレス)	○	65	X(02)	CH	2	内容は任意
15	提供企業コード	◎	67	X(12)	CH	12	提供企業のコード
16	提供企業事業所コード	○	79	X(12)	CH	12	提供企業の取引発生事業所コード
17	提供企業名	◎	91	X(15)	CH	15	提供企業の社名
18	提供企業照会事業所名	○	106	X(10)	CH	10	提供企業事務所の社名
19	送信データ件数	△	116	9(06)	ZD	6	レコード件数(ファイルヘッダー～エンドレコード迄)もしくは'000000'
20	レコードサイズ	◎	122	9(03)	ZD	3	'128'固定
21	データ有無サイン	◎	125	X(01)	CH	1	△：通常, 1：データ無し
22	フォーマットバージョンNo.	◎	126	X(01)	CH	1	'1'固定
23	余白		127	X(02)	CH	2	余白

### 1-3. データ種別

出荷配送依頼データを表す「7B」固定

条件欄 ◎：必須 ○：選択必須 △：任意

No	Content	条件	Col	Pic-ture	For-mat	Len-gth	Description
1	レコード区分	◎	1	X(01)	C H	1	レコードの種類を表す「2」
2	データシリアルNo.	◎	2	9(07)	Z D	7	データ通しNo. ファイルヘッダー単位で1番より付番
3	出荷配送依頼No.	◎	9	X(08)	C H	8	発荷主が指定する出荷配送依頼No.
4	元出荷配送依頼No.	△	17	X(08)	C H	8	訂正時、発荷主が指定した元出荷配送依頼No.
5	出荷配送依頼区分	◎	25	X(01)	C H	1	情報の訂正/取消(赤黒区分)を表すコード △：通常 1：取消 2：取消修正(黒)
6	訂正理由区分	◎	26	X(01)	C H	1	情報の訂正/取消の理由を表すコード △：正常 1：数量訂正 2：品名訂正 3：単価訂正 4：重複訂正 9：その他
7	伝票番号	◎	27	X(08)	C H	8	日食協「受発注システム」*の伝票ヘッダーレコードのNo.4「伝票番号」 発注者(卸店)における発注伝票番号(伝票単位につける番号) 訂正時は、元伝票番号
8	納入日または引取日	◎	35	X(08)	C H	8	日食協「受発注システム」*の伝票ヘッダーレコードのNo.11「納入日又は引取日」 発注者(卸店)の指定日付をYYYYMMDDでセットする
9	納入希望時間	△	43	X(04)	C H	4	日食協「受発注システム」*の伝票ヘッダーレコードのNo.15「納入希望時間」 発注者(卸店)の指定時刻をHHMMでセットする 納入区分でも可 △：指定なし 1：今出し 2：日中出し 3：早出し 4：宵出し 5：時間外 6：午前 7：午後 8：朝一 9：午後一
10	荷主コード	△	47	X(13)	C H	13	発荷主または出荷元倉庫を識別するコード
11	一次店コード	◎	60	X(12)	C H	12	帳合先を表すコード 業界統一コードの設定がなければ、プライベートコードを使用
12	二次店コード	◎	72	X(12)	C H	12	納品先を表すコード 業界統一コードの設定がなければ、プライベートコードを使用
13	三次店コード	△	84	X(12)	C H	12	業界統一コードの設定がなければ、プライベートコードを使用

No	Content	条件	Col	Pic-ture	For-mat	Len-gth	Description
14	納品予定日	◎	96	X(08)	C H	8	実際の商品を納品する予定日、もしくは出荷日 (YYYYMMDD)
15	出庫日	△	104	X(08)	C H	8	メーカー倉庫からの出庫日 (YYYYMMDD)
16	伝票区分	△	112	X(08)	C H	8	専用伝票等
17	余白		120	X(09)	C H	9	

\* : 日食協標準EDIフォーマット「受発注システム」のVer2の場合

## 2-1. レコード区分

得意先情報レコードであることを認識する。固定で「2」をセットする。

## 2-2. データシリアルNo.

ファイルヘッダー単位のデータ通しナンバーをセットする

## 2-3. 出荷配送依頼No.

メーカー(発荷主)が指定する出荷配送依頼No.をセットする

## 2-4. 元出荷配送依頼No.

訂正時、メーカー(発荷主)が指定した元の出荷配送依頼No.(2-3.)をセットする

## 2-5. 出荷配送依頼区分

情報の訂正/取消(赤黒区分)を表すコードを選択する

△ : 通常 1 : 取消 2 : 取消修正(黒)

## 2-6. 訂正理由区分

情報の訂正/取消の理由を表すコードを選択する

△ : 正常 1 : 数量訂正 2 : 品名訂正 3 : 単価訂正 4 : 重複訂正 9 : その他

## 2-7. 伝票番号

卸店(発注者)における発注伝票番号(伝票単位につける番号)をセットする

日食協標準EDIフォーマット「受発注システム」の伝票ヘッダーレコードのNo.4「伝票番号」をセットする

訂正時は、元伝票番号をセットする

## 2-8. 納入日または引取日

卸店(発注者)の指定日付をYYYYMMDDの形式でセットする

日食協標準EDIフォーマット「受発注システム」の伝票ヘッダーレコードのNo.11「納入日又は引取日」をセットする

## 2-9. 納入希望時間

卸店(発注者)の指定時刻をHHMMの形式でセットする

日食協標準EDIフォーマット「受発注システム」の伝票ヘッダーレコードのNo.15「納入希望時間」をセットする

納入区分でも可

△ : 指定なし 1 : 今出し 2 : 日中出し 3 : 早出し 4 : 宵出し 5 : 時間外  
6 : 午前 7 : 午後 8 : 朝一 9 : 午後一

2-10. 荷主コード

メーカー(発荷主)または出荷元倉庫を識別するコードをセットする  
統一取引先コードの設定がなければ、プライベートコードを使用する

2-11. 一次店コード

帳合先を表すコードをセットする  
統一取引先コードの設定がなければ、プライベートコードを使用する

2-12. 二次店コード

納品先を表すコードをセットする  
統一取引先コードの設定がなければ、プライベートコードを使用する

2-13. 三次店コード

統一取引先コードの設定がなければ、プライベートコードをセットする

2-14. 納品予定日

実際の商品を納品する予定日、もしくは出荷日をYYYYMMDDの形式でセットする

2-15. 出庫日

メーカー(発荷主)倉庫からの出庫日をYYYYMMDDの形式でセットする

2-16. 伝票区分

専用伝票等、当事者間で取り決めた値をセットする

条件欄 ◎：必須 ○：選択必須 △：任意

No	Content	条件	Col	Pic-ture	For-mat	Len-gth	Description
1	レコード区分	◎	1	X(01)	C H	1	レコードの種類を表す「3」
2	データシリアルNo.	◎	2	9(07)	Z D	7	データ通しNo. ファイルヘッダー単位で1番より付番
3	伝票ヘッダー参照No.	◎	9	X(01)	C H	1	2. 伝票ヘッダーレコード/No.10~13に対応 △：発荷主 1：一次店 2：二次店 3：三次店
4	社名、店名、取引先名	◎	10	X(40)	C H	40	社名、店名、取引先名、納品先名 か40文字、漢字20文字
5	住所	◎	50	X(56)	C H	56	納品先の住所 か56文字、漢字28文字
6	電話番号	△	106	X(12)	C H	12	電話番号 例 03-5643-3430
7	日本語区分	◎	118	X(01)	C H	1	△：か表現 1：漢字表現
8	全国地方公共団体コード	△	119	X(05)	C H	5	納品先のコード 総務省が定めるコード、チェックデジットを除く
9	配送区分(モード)	△	124	X(02)	C H	2	01：路線便 02：個建(宅配便) 03：共配 04：区域 05：コンテナ 06：貨車 07：船舶 08：航空 09：共配扱路線 10：共配扱区域 11：共配希望区域 90：その他
10	運賃区分	△	126	X(01)	C H	1	1：元払い 2：立替元 3：着払い
11	集荷区分	△	127	X(01)	C H	1	1：集荷 2：共同配送巡回集荷 3：持ち込み 4：共同配送センターへ持ち込み 9：その他
12	パレット使用区分	△	128	X(01)	C H	1	1：使用 2：使用しない

## 3-1. レコード区分

伝票ヘッダーオプションレコード(1)であることを認識する。固定で「3」をセットする。

## 3-2. データシリアルNo.

ファイルヘッダー単位のデータ通しナンバーをセットする

## 3-3. 伝票ヘッダー参照No.

2. 伝票ヘッダーレコードのNo.10~13に対応した値を選択する

△：メーカー(発荷主) 1：一次店 2：二次店 3：三次店

## 3-4. 社名、店名、取引先名

3-3. 伝票ヘッダー参照No.に対応する社名・店名・取引先名をか40文字以内でセットする

漢字を使用する場合、20文字以内でセットする

(漢字を使用する場合、JIS第一、第二水準の範囲とし外字は使用しない)

### 3-5. 住所

納品先の住所をｶ56文字以内でセットする  
漢字を使用する場合、28文字以内でセットする  
(漢字を使用する場合、JIS第一、第二水準の範囲とし外字は使用しない)

### 3-6. 電話番号

3-3. 伝票ヘッダー参照No.に対応する電話番号をセットする

### 3-7. 日本語区分

3-4. 社名、店名、取引先名、3-5. 住所がｶ表現か、漢字表現か、を選択する  
△：ｶ表現 1：漢字表現

### 3-8. 全国地方公共団体コード

総務省が定める納品先のコードをセットする(チェックデジットを除く)

### 3-9. 配送区分(モード)

配送区分を選択する  
01：路線便 02：個建(宅配便) 03：共配 04：区域 05：コンテナ  
06：貨車 07：船舶 08：航空 09：共配扱路線 10：共配扱区域  
11：共配希望区域 90：その他

### 3-10. 運賃区分

運賃区分を選択する  
1：元払い 2：立替元 3：着払い

### 3-11. 集荷区分

集荷区分を選択する  
1：集荷 2：共同配送巡回集荷 3：持ち込み 4：共同配送センターへ持ち込み  
9：その他

### 3-12. パレット使用区分

パレット使用区分を選択する  
1：使用 2：使用しない

条件欄 ◎：必須 ○：選択必須 △：任意

No	Content	条件	Col	Picture	Format	Length	Description
1	レコード区分	◎	1	X(01)	CH	1	レコードの種類を表す「4」
2	データシリアルNo.	◎	2	9(07)	ZD	7	データ通しNo. ファイルヘッダー単位で1番より付番
3	配送形態区分	△	9	X(05)	CH	5	当事者間で取り決めた配送形態区分の値
4	配送形態区分名	△	14	X(20)	CH	20	か20文字、漢字10文字
5	配送地区	△	34	X(20)	CH	20	か20文字、漢字10文字
6	備考	△	54	X(50)	CH	50	伝票単位の備考 か50文字、漢字25文字
7	日本語区分	○	104	X(01)	CH	1	△：か表現 1：漢字表現
8	伝票総数量	△	105	S9(07)	ZD	7	伝票単位の総数量、個口
9	伝票総重量	△	112	9(07)V3	ZD	10	伝票単位の総重量、キログラム単位
10	伝票総容積	△	122	9(03)V3	ZD	6	伝票単位の総容積、立法メートル単位またはリットル単位
11	余白		128	X(01)	CH	1	

## 4-1. レコード区分

伝票ヘッダーオプションレコード(2)であることを認識する。固定で「4」をセットする。

## 4-2. データシリアルNo.

ファイルヘッダー単位のデータ通しナンバーをセットする

## 4-3. 配送形態区分

当事者間で取り決めた配送形態区分の値をセットする

## 4-4. 配送形態区分名

4-3. 配送形態区分の名称をか20文字以内でセットする

漢字を使用する場合、10文字以内でセットする

(漢字を使用する場合、JIS第一、第二水準の範囲とし外字は使用しない)

## 4-5. 配送地区

配送地区をか20文字以内でセットする

漢字を使用する場合、10文字以内でセットする

(漢字を使用する場合、JIS第一、第二水準の範囲とし外字は使用しない)

## 4-6. 備考

伝票単位の備考をか50文字以内でセットする

漢字を使用する場合、25文字以内でセットする

(漢字を使用する場合、JIS第一、第二水準の範囲とし外字は使用しない)

4-7. 日本語区分

4-4. 配送形態区分名、4-5. 配送地区、4-6. 備考がｶ表現か、漢字表現か、を選択する  
△：ｶ表現 1：漢字表現

4-8. 伝票総数量

伝票単位の総数量、個口をセットする

4-9. 伝票総重量

伝票単位の総重量をキログラム単位でセットする

4-10. 伝票総容積

伝票単位の総容積を立方メートルまたはリットル単位でセットする

条件欄 ◎：必須 ○：選択必須 △：任意

No	Content	条件	Col	Picture	Format	Length	Description
1	レコード区分	◎	1	X(01)	CH	1	レコードの種類を表す「5」
2	データシリアルNo.	◎	2	9(07)	ZD	7	データ通しNo. ファイルヘッダー単位で1番より付番
3	四次店コード	△	9	X(12)	CH	12	業界統一コードの設定がなければ、プライベートコードを使用
4	社名、店名、取引先名 (四次店)	△	21	X(40)	CH	40	か40文字、漢字20文字
5	五次店コード	△	61	X(12)	CH	12	業界統一コードの設定がなければ、プライベートコードを使用
6	社名、店名、取引先名 (五次店)	△	73	X(40)	CH	40	か40文字、漢字20文字
7	日本語区分	○	113	X(01)	CH	1	△：か表現 1：漢字表現
8	余白		114	X(15)	CH	15	

## 5-1. レコード区分

伝票ヘッダーオプションレコード(3)であることを認識する。固定で「5」をセットする。

## 5-2. データシリアルNo.

ファイルヘッダー単位のデータ通しナンバーをセットする

## 5-3. 四次店コード

統一取引先コードの設定がなければ、プライベートコードをセットする

## 5-4. 社名、店名、取引先名(四次店)

四次店の名称をか40文字以内でセットする

漢字を使用する場合、20文字以内でセットする

(漢字を使用する場合、JIS第一、第二水準の範囲とし外字は使用しない)

## 5-5. 五次店コード

統一取引先コードの設定がなければ、プライベートコードをセットする

## 5-6. 社名、店名、取引先名(五次店)

五次店の名称をか40文字以内でセットする

漢字を使用する場合、20文字以内でセットする

(漢字を使用する場合、JIS第一、第二水準の範囲とし外字は使用しない)

## 5-7. 日本語区分

5-4. 社名、店名、取引先名(四次店)、5-6. 社名、店名、取引先名(五次店)がか表現か、漢字表現か、を選択する

△：か表現 1：漢字表現

条件欄 ◎：必須 ○：選択必須 △：任意

No	Content	条件	Col	Picture	Format	Length	Description
1	レコード区分	◎	1	X(01)	CH	1	レコードの種類を表す「6」
2	データシリアルNo.	◎	2	9(07)	ZD	7	データ通しNo. ファイルヘッダー単位で1番より付番
3	出荷配送依頼行No.	◎	9	X(02)	CH	2	出荷配送依頼の行No.
4	伝票行No.	△	11	X(02)	CH	2	日食協「受発注システム」*の明細行レコードの No.3、9、15「伝票行No.」 卸店の発注行No. 卸店がオフライン発注の場合、セット不要
5	商品コード(JANコード)	◎	13	X(13)	CH	13	単品JANコード
6	商品コード (メーカープライベートコード)	△	26	X(16)	CH	16	メーカーの単箱のプライベートコードまたはSDPコード
7	商品コード (卸プライベートコード)	△	42	X(16)	CH	16	卸店のプライベートコード
8	集合包装用商品コード	△	58	X(14)	CH	14	単箱のコード(ITFシンボルのNo.)
9	商品鮮度日付区分	△	72	X(01)	CH	1	1：製造日 2：賞味期限 3：消費期限
10	商品鮮度日付	△	73	X(08)	CH	8	商品鮮度日付区分に従った日付をセットする 発荷主が日付を指定する場合
11	入数	◎	81	9(05)	ZD	5	日食協「出荷案内システム」の明細行レコード (1)のNo.6「入数」にセットする入数。 それぞれの単位に含まれる個数。
12	単位	◎	86	X(01)	CH	1	日食協「出荷案内システム」の明細行レコード (1)のNo.8「単位」にセットする単位。数量単位 を表す。 1：ケース 2：ボール 3：バラ(個) 5：キログラム 7：グラム 8：ミリグラム 9：リットル
13	数量	◎	87	S9(07)	ZD	7	日食協「出荷案内システム」の明細行レコード (1)のNo.7「数量」にセットする数量。 数量単位の倍数をセット。 No.12：単位が「1：ケース」の場合、ケース数
14	端数単位	△	94	X(01)	CH	1	1単位未満の端数の単位 1：ケース(単箱) 2：ボール 3：バラ(個) 7：グラム 8：ミリグラム
15	端数	△	95	9(03)	ZD	3	1単位未満の端数
16	総バラ数量	◎	98	9(10)	ZD	10	

No	Content	条件	Col	Picture	Format	Length	Description
17	総重量	◎	108	9(07)V3	Z D	10	キログラム単位
18	荷姿・規格	△	118	X(10)	C H	10	商品荷姿または規格
19	余白		128	X(01)	C H	1	

※：日食協標準EDIフォーマット「受発注システム」のVer2を対象

#### 6-1. レコード区分

明細行レコードであることを認識する。固定で「6」をセットする。

#### 6-2. データシリアルNo.

ファイルヘッダー単位のデータ通しナンバーをセットする

#### 6-3. 出荷配送依頼行No.

出荷配送依頼の行No.をセットする

#### 6-4. 伝票行No.

日食協標準EDIフォーマット「受発注システム」の明細行レコードのNo.3、9、15「伝票行No.」をセットする

#### 6-5. 商品コード(JANコード)

単品のJANコードをセットする

#### 6-6. 商品コード(メーカープライベートコード)

単箱のメーカープライベートコードまたはSDPコードをセットする

#### 6-7. 商品コード(卸プライベートコード)

卸店のプライベートコードをセットする

#### 6-8. 集合包装用商品コード

単箱のコード(ITFシンボルのNo.)をセットする

#### 6-9. 商品鮮度日付区分

商品鮮度の日付区分を選択する

1：製造日 2：賞味期限 3：消費期限

#### 6-10. 商品鮮度日付

メーカー(発荷主)が日付を指定する場合、6-9. 商品鮮度日付区分に従った日付をYYYYMMDDの形式でセットする

#### 6-11. 入数

日食協標準EDIフォーマット「出荷案内システム」の明細行レコード(1)のNo.6「入数」にセットする入数、それぞれの単位に含まれる個数をセットする

#### 6-12. 単位

日食協標準EDIフォーマット「出荷案内システム」の明細行レコード(1)のNo.8「単位」にセットする数量単位を選択する

1：ケース 2：ボール 3：バラ(個) 5：キログラム 7：グラム 8：ミリグラム 9：リットル

6-13. 数量

日食協標準EDIフォーマット「出荷案内システム」の明細行レコード(1)のNo.7「数量」にセットする数量、数量単位の倍数をセットする  
たとえば、6-12. 単位が「1 : ケース」の場合、ケース数

6-14. 端数単位

1 単位未満の端数の単位を選択する

1 : ケース(単箱) 2 : ボール 3 : バラ(個) 7 : グラム 8 : ミリグラム

6-15. 端数

1 単位未満の端数をセットする

6-16. 総バラ数量

バラ(個)の総数量をセットする

6-17. 総重量

総重量をキログラム単位でセットする

6-18. 荷姿・規格

商品荷姿または規格をセットする

条件欄 ◎：必須 ○：選択必須 △：任意

No	Content	条件	Col	Picture	Format	Length	Description
1	レコード区分	◎	1	X(01)	CH	1	レコードの種類を表す「7」
2	データシリアルNo.	◎	2	9(07)	ZD	7	データ通しNo. ファイルヘッダー単位で1番より付番
3	商品名	△	9	X(50)	CH	50	商品名称 か50文字、漢字25文字
4	メッセージ	△	59	X(50)	CH	50	明細行単位の備考 か50文字、漢字25文字
5	日本語区分	○	109	X(01)	CH	1	△：か表現 1：漢字表現
6	生販単価	△	110	9(07)V2	ZD	9	販売単価
7	金額	△	119	S9(10)	ZD	10	数量×生販単価

## 7-1. レコード区分

明細行オプションレコード(1)であることを認識する。固定で「7」をセットする。

## 7-2. データシリアルNo.

ファイルヘッダー単位のデータ通しナンバーをセットする

## 7-3. 商品名

商品名をか50文字以内でセットする

漢字を使用する場合、25文字以内でセットする

(漢字を使用する場合、JIS第一、第二水準の範囲とし外字は使用しない)

## 7-4. メッセージ

明細行単位の備考をか50文字以内でセットする

漢字を使用する場合、25文字以内でセットする

(漢字を使用する場合、JIS第一、第二水準の範囲とし外字は使用しない)

## 7-5. 日本語区分

7-3. 商品名、7-4. メッセージがか表現か、漢字表現か、を選択する

△：か表現 1：漢字表現

## 7-6. 生販単価

生販単価をセットする

## 7-7. 金額

数量×生販単価をセットする

条件欄 ◎：必須 ○：選択必須 △：任意

No	Content	条件	Col	Picture	Format	Length	Description
1	レコード区分	◎	1	X(01)	CH	1	レコードの種類を表す「8」
2	データシリアルNo.	◎	2	9(07)	ZD	7	データ通しNo. ファイルヘッダー単位で1番より付番
3	サイズ(縦)	△	9	9(15)	ZD	15	ミリメートル単位
4	サイズ(横)	△	24	9(15)	ZD	15	ミリメートル単位
5	サイズ(高さ)	△	39	9(15)	ZD	15	ミリメートル単位
6	容量	△	54	9(03)V3	ZD	6	リットル単位
7	余白		60	X(69)	CH	69	

## 8-1. レコード区分

明細行オプションレコード(2)であることを認識する。固定で「8」をセットする。

## 8-2. データシリアルNo.

ファイルヘッダー単位のデータ通しナンバーをセットする

## 8-3. サイズ(縦)

商品の縦の長さをミリメートル単位でセットする

## 8-4. サイズ(横)

商品の横の長さをミリメートル単位でセットする

## 8-5. サイズ(高さ)

商品の高さをミリメートル単位でセットする

## 8-6. 容量

商品の容量をリットル単位でセットする

条件欄 ◎：必須 ○：選択必須 △：任意

No	Content	条件	Col	Picture	Format	Length	Description
1	レコード区分	◎	1	X(01)	CH	1	レコードの種類を表わす「9」
2	データシリアルNo.	◎	2	9(07)	ZD	7	データ通しNo. ファイルヘッダー単位で1番より付番
3	レコード件数	◎	9	9(06)	ZD	6	1つのファイル(ファイルヘッダー単位)に含まれるファイルヘッダーからエンドレコードまでを含んだレコード数
4	余白		15	X(114)	CH	114	

## 9-1. レコード区分

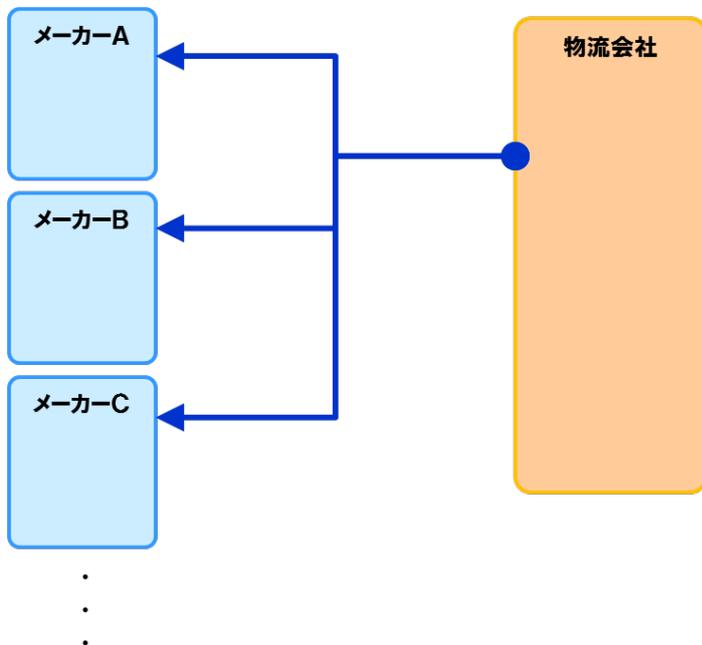
エンドレコードであることを認識する。固定で「9」をセットする。

## 9-2. データシリアルNo.

ファイルヘッダー単位のデータ通しナンバーをセットする

### Ⅲ. 納入実績データ

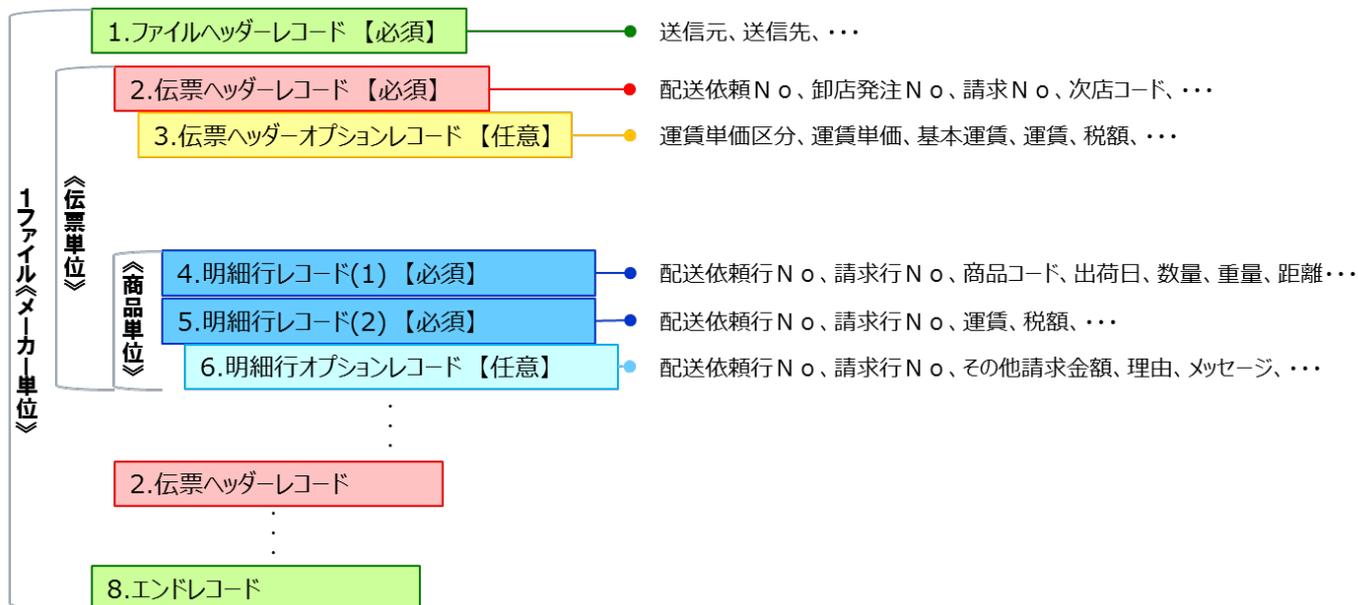
#### 1. 納入実績データとは



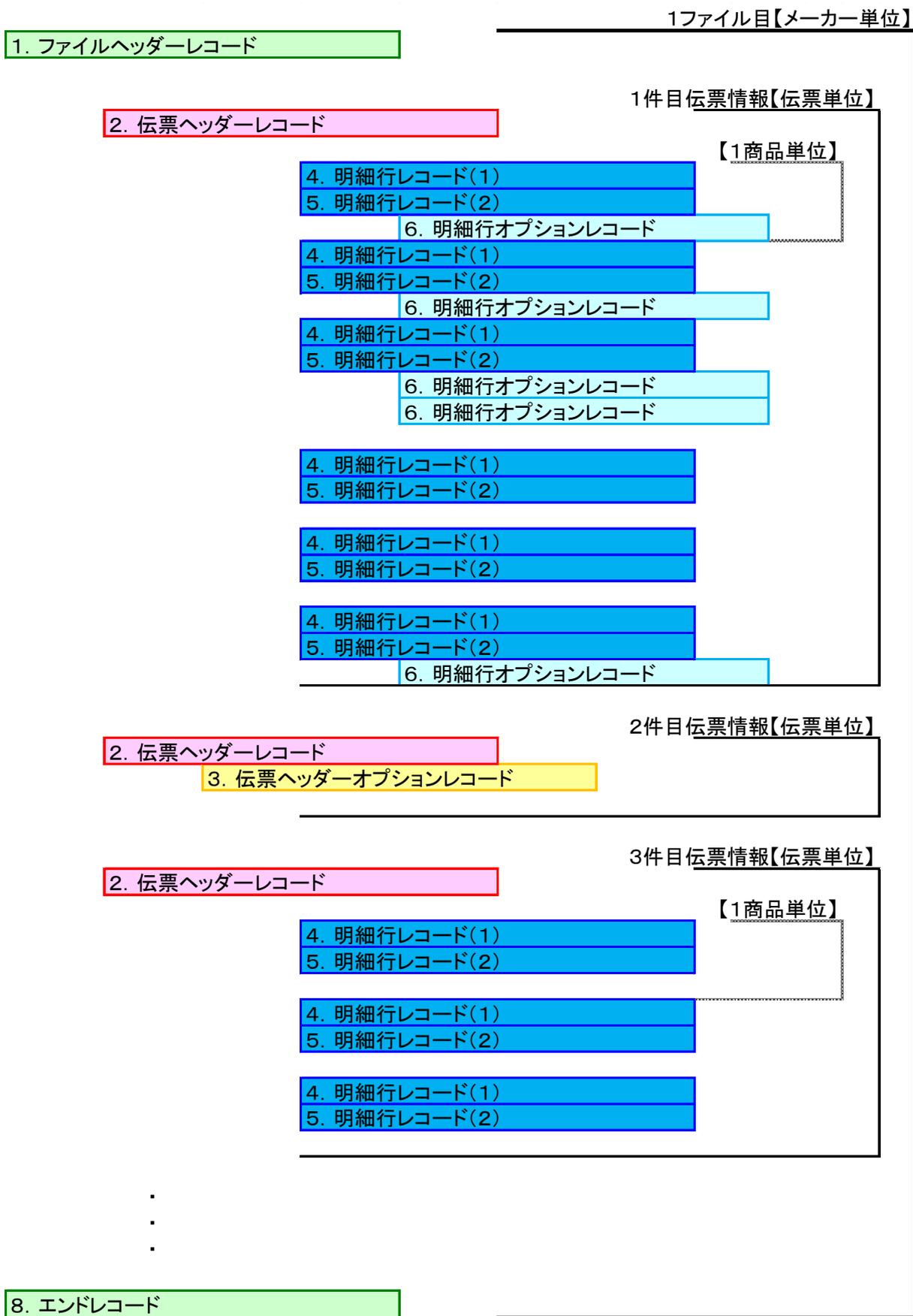
物流会社からメーカー(発荷主)に対して、「出荷配送依頼データ」の折り返しとして、日次の納入実績(運賃等)を報告する。

これにより、受信するメーカー(発荷主)にて、締日前でも日次の納入実績(運賃等)が把握でき、「出荷配送依頼データ」と合わせて、実績管理が容易になる。

#### 2. レコードの種類と主な項目



### 3. レコードの作成イメージ



## 4. フォーマットおよび使用ガイド

納入実績データ	1. ファイルヘッダーレコード	【必須】
---------	-----------------	------

条件欄 ◎：必須 ○：選択必須 △：任意

No	Content	条件	Col	Pic-ture	For-mat	Len-gth	Description
1	レコード区分	◎	1	X(01)	CH	1	レコードの種類を表わす「1」
2	データシリアルNo.	◎	2	9(07)	ZD	7	ファイルヘッダー単位に'0000001'より付番(連番)
3	データ種別	◎	9	X(02)	CH	2	'7C'固定(納入実績)
4	データ作成日付	◎	11	X(06)	CH	6	提供企業がデータをファイルに入力した日付
5	データ作成時刻	△	17	X(06)	CH	6	提供企業がデータをファイルに入力した時刻
6	ファイルNo.	◎	23	X(02)	CH	2	同時送信時の複数ファイル区別のkey'01'よりスタート
7	データ処理日	◎	25	X(06)	CH	6	提供者のデータ処理日
8	利用者企業コード (受け手)	◎	31	X(12)	CH	12	データの宛先
9	データ送信元センターコード	◎	43	X(06)	CH	6	データを提供する企業のコード及びセンターのコード
10	'' (予備)	△	49	X(02)	CH	2	予備
11	最終送信先コード	◎	51	X(06)	CH	6	データを受け取る最終の企業コード
12	最終送信先 ステーションアドレス	◎	57	X(02)	CH	2	内容は任意
13	直接送信宛先企業コード	○	59	X(06)	CH	6	中継センターの企業コード
14	'' (ステーションアドレス)	○	65	X(02)	CH	2	内容は任意
15	提供企業コード	◎	67	X(12)	CH	12	提供企業のコード
16	提供企業事業所コード	○	79	X(12)	CH	12	提供企業の取引発生事業所コード
17	提供企業名	◎	91	X(15)	CH	15	提供企業の社名
18	提供企業照会事業所名	○	106	X(10)	CH	10	提供企業事務所の社名
19	送信データ件数	△	116	9(06)	ZD	6	レコード件数(ファイルヘッダー～エンドレコード迄)もしくは'000000'
20	レコードサイズ	◎	122	9(03)	ZD	3	'128'固定
21	データ有無サイン	◎	125	X(01)	CH	1	△：通常, 1：データ無し
22	フォーマットバージョンNo.	◎	126	X(01)	CH	1	'1'固定
23	余白		127	X(02)	CH	2	余白

### 1-3. データ種別

納入実績データを表す「7C」固定

条件欄 ◎：必須 ○：選択必須 △：任意

No	Content	条件	Col	Pic-ture	For-mat	Len-gth	Description
1	レコード区分	◎	1	X(01)	C H	1	レコードの種類を表す「2」
2	データシリアルNo.	◎	2	9(07)	Z D	7	データ通しNo. ファイルヘッダー単位で1番より付番
3	出荷配送依頼No.	◎	9	X(08)	C H	8	発荷主が指定した出荷配送依頼No.
4	元出荷配送依頼No.	△	17	X(08)	C H	8	訂正時、発荷主が指定した元出荷配送依頼No.
5	出荷配送区分	◎	25	X(01)	C H	1	運送会社が情報の訂正/取消の区分を表すコード △：通常 1：取消 2：取消修正(黒)
6	訂正理由区分	◎	26	X(01)	C H	1	運送会社が情報を訂正/取消の理由を表すコード △：正常 1：数量訂正 2：品名訂正 3：単価訂正 4：重複訂正 9：その他
7	伝票番号	◎	27	X(08)	C H	8	日食協「受発注システム」*の伝票ヘッダーレコードの No.4「伝票番号」 発注者(卸店)における発注伝票番号(伝票単位につける番号) 訂正時は、元伝票番号
8	納入日または引取日	◎	35	X(08)	C H	8	日食協「受発注システム」*の伝票ヘッダーレコードの No.11「納入日又は引取日」 納入指定日をYYYYMMDDでセットする 発注者(卸店)の指定日付
9	納入希望時間	△	43	X(04)	C H	4	日食協「受発注システム」*の伝票ヘッダーレコードの No.15「納入希望時間」 HHMM(卸店の指定時間) 納入区分も可 △：指定なし 1：今出し 2：日中出し 3：早出し 4：宵出し 5：時間外 6：午前 7：午後 8：朝一 9：午後一
10	荷主コード	△	47	X(13)	C H	13	発荷主または出荷元倉庫を識別するコード
11	一次店コード	◎	60	X(12)	C H	12	帳合先を表すコード 業界統一コードの設定がなければ、プライベートコードを使用
12	二次店コード	◎	72	X(12)	C H	12	納品先を表すコード 業界統一コードの設定がなければ、プライベートコードを使用
13	三次店コード	△	84	X(12)	C H	12	業界統一コードの設定がなければ、プライベートコードを使用

No	Content	条件	Col	Pic-ture	For-mat	Len-gth	Description
14	納品予定日	◎	96	X(08)	C H	8	実際の商品を納品する予定日、もしくは出荷日 (YYYYMMDD)
15	出庫日	△	104	X(08)	C H	8	メーカー倉庫からの出庫日 (YYYYMMDD)
16	運賃請求No.	◎	112	X(11)	C H	11	請求元企業が付番する運賃請求No.
17	余白		123	X(06)	C H	6	

※：日食協標準EDIフォーマット「受発注システム」のVer2の場合

## 2-1. レコード区分

得意先情報レコードであることを認識する。固定で「2」をセットする。

## 2-2. データシリアルNo.

ファイルヘッダー単位のデータ通しナンバーをセットする

## 2-3. 出荷配送依頼No.

メーカー(発荷主)が指定した出荷配送依頼No.をセットする

※ 「出荷配送依頼データ」の伝票ヘッダーレコードのNo.3「出荷配送依頼No.」

## 2-4. 元出荷配送依頼No.

訂正時、メーカー(発荷主)が指定した元の出荷配送依頼No.(2-3.)をセットする

※ 「出荷配送依頼データ」の伝票ヘッダーレコードのNo.4「元出荷配送依頼No.」

## 2-5. 出荷配送依頼区分

情報の訂正/取消(赤黒区分)を表すコードを選択する

△：通常 1：取消 2：取消修正(黒)

※ 「出荷配送依頼データ」の伝票ヘッダーレコードのNo.5「出荷配送依頼区分」

## 2-6. 訂正理由区分

情報の訂正/取消の理由を表すコードを選択する

△：正常 1：数量訂正 2：品名訂正 3：単価訂正 4：重複訂正 9：その他

※ 「出荷配送依頼データ」の伝票ヘッダーレコードのNo.6「訂正理由区分」

## 2-7. 伝票番号

卸店(発注者)における発注伝票番号(伝票単位につける番号)をセットする

日食協標準EDIフォーマット「受発注システム」の伝票ヘッダーレコードのNo.4「伝票番号」をセットする

訂正時は、元伝票番号をセットする

※ 「出荷配送依頼データ」の伝票ヘッダーレコードのNo.7「伝票番号」

## 2-8. 納入日または引取日

卸店(発注者)の指定日付をYYYYMMDDの形式でセットする

日食協標準EDIフォーマット「受発注システム」の伝票ヘッダーレコードのNo.11「納入日又は引取日」をセットする

※ 「出荷配送依頼データ」の伝票ヘッダーレコードのNo.8「納入日または引取日」

## 2-9. 納入希望時間

卸店(発注者)の指定時刻をHHMMの形式でセットする

日食協標準EDIフォーマット「受発注システム」の伝票ヘッダーレコードのNo.15「納入希望時間」をセットする

納入区分でも可

△：指定なし 1：今出し 2：日中出し 3：早出し 4：宵出し 5：時間外  
6：午前 7：午後 8：朝一 9：午後一

※ 「出荷配送依頼データ」の伝票ヘッダーレコードのNo.9「納入希望時間」

## 2-10. 荷主コード

メーカー(発荷主)または出荷元倉庫を識別するコードをセットする

統一取引先コードの設定がなければ、プライベートコードを使用する

※ 「出荷配送依頼データ」の伝票ヘッダーレコードのNo.10「荷主コード」

## 2-11. 一次店コード

帳合先を表すコードをセットする

統一取引先コードの設定がなければ、プライベートコードを使用する

※ 「出荷配送依頼データ」の伝票ヘッダーレコードのNo.11「一次店コード」

## 2-12. 二次店コード

納品先を表すコードをセットする

統一取引先コードの設定がなければ、プライベートコードを使用する

※ 「出荷配送依頼データ」の伝票ヘッダーレコードのNo.12「二次店コード」

## 2-13. 三次店コード

統一取引先コードの設定がなければ、プライベートコードをセットする

※ 「出荷配送依頼データ」の伝票ヘッダーレコードのNo.13「三次店コード」

## 2-14. 納品予定日

実際の商品を納品する予定日、もしくは出荷日をYYYYMMDDの形式でセットする

※ 「出荷配送依頼データ」の伝票ヘッダーレコードのNo.14「納品予定日」

## 2-15. 出庫日

メーカー(発荷主)倉庫からの出庫日をYYYYMMDDの形式でセットする

※ 「出荷配送依頼データ」の伝票ヘッダーレコードのNo.15「出庫日」

## 2-16. 運賃請求No.

請求元企業が付番する運賃請求No.をセットする

条件欄 ◎：必須 ○：選択必須 △：任意

No	Content	条件	Col	Picture	Format	Length	Description
1	レコード区分	◎	1	X(01)	CH	1	レコードの種類を表す「3」
2	データシリアルNo.	◎	2	9(07)	ZD	7	データ通しNo. ファイルヘッダー単位で1番より付番
3	運賃単価区分	◎	9	X(01)	CH	1	運賃単価の単位を表す区分 △：数量あたり 1：重量あたり
4	運賃単価	◎	10	9(06)V2	ZD	8	No.3「運賃単価区分」あたりの単価
5	基本運賃	◎	18	S9(10)	ZD	10	商品を輸送する際にかかった金額
6	輸送温料	△	28	S9(10)	ZD	10	商品の輸送に際し、保冷車等を使用した場合の金額
7	相殺、立替等金額	△	38	S9(10)	ZD	10	相殺、立替等があった場合の金額
8	値引金額	△	48	S9(10)	ZD	10	値引があった場合の金額
9	運賃	◎	58	S9(10)	ZD	10	運賃および運賃に付随する料金の合計金額
10	税率	△	68	9(02)V2	ZD	4	消費税率
11	税額	△	72	S9(10)	ZD	10	消費税額
12	税込運賃	△	82	S9(10)	ZD	10	税込の運賃
13	全国地方公共団体コード	△	92	X(05)	CH	5	納品先のコード 総務省が定めるコード、チェックデジットを除く
14	配送区分(モード)	△	97	X(02)	CH	2	01：路線便 02：個建(宅配便) 03：共配 04：区域 05：コンテナ 06：貨車 07：船舶 08：航空 09：共配扱路線 10：共配扱区域 11：共配希望区域 90：その他
15	運賃区分	△	99	X(01)	CH	1	1：元払い 2：立替元 3：着払い
16	集荷区分	△	100	X(01)	CH	1	1：集荷 2：共同配送巡回集荷 3：持ち込み 4：共同配送センターへ持ち込み 9：その他
17	パレット使用区分	△	101	X(01)	CH	1	1：使用 2：使用しない
18	問い合わせ番号	△	102	X(16)	CH	16	運送会社の問い合わせ番号
19	余白		118	X(11)	CH	11	

3-1. レコード区分

伝票ヘッダーオプションレコードであることを認識する。固定で「3」をセットする。

3-2. データシリアルNo.

ファイルヘッダー単位のデータ通しナンバーをセットする

### 3-3. 運賃単価区分

運賃単価の単位を表す区分を選択する

△：数量あたり 1：重量あたり

### 3-4. 運賃単価

3-3. 運賃単価区分あたりの単価をセットする

### 3-5. 基本運賃

商品を輸送する際にかかった金額をセットする

### 3-6. 輸送温料

商品の輸送に際し、保冷車等を使用した場合の金額をセットする

### 3-7. 相殺、立替等金額

相殺、立替等があった場合の金額をセットする

### 3-8. 値引金額

値引があった場合の金額をセットする

### 3-9. 運賃

運賃および運賃に付随する料金の合計金額をセットする

### 3-10. 税率

消費税率をセットする

### 3-11. 税額

消費税額をセットする

### 3-12. 税込運賃

消費税込の運賃をセットする

### 3-13. 全国地方公共団体コード

総務省が定める納品先のコードをセットする(チェックデジットを除く)

※ 「出荷配送依頼データ」の伝票ヘッダーオプションレコード(1)のNo.8「全国地方公共団体コード」

### 3-14. 配送区分(モード)

配送区分を選択する

01：路線便 02：個建(宅配便) 03：共配 04：区域 05：コンテナ

06：貨車 07：船舶 08：航空 09：共配扱路線 10：共配扱区域

11：共配希望区域 90：その他

※ 「出荷配送依頼データ」の伝票ヘッダーオプションレコード(1)のNo.9「配送区分(モード)」

### 3-15. 運賃区分

運賃区分を選択する

1：元払い 2：立替元 3：着払い

※ 「出荷配送依頼データ」の伝票ヘッダーオプションレコード(1)のNo.10「運賃区分」

### 3-16. 集荷区分

集荷区分を選択する

1：集荷 2：共同配送巡回集荷 3：持ち込み 4：共同配送センターへ持ち込み  
9：その他

※ 「出荷配送依頼データ」の伝票ヘッダーオプションレコード(1)のNo.11「集荷区分」

### 3-17. パレット使用区分

パレット使用区分を選択する

1：使用 2：使用しない

※ 「出荷配送依頼データ」の伝票ヘッダーオプションレコード(1)のNo.12「パレット使用区分」

### 3-18. 問い合わせ番号

物流会社の付番する問い合わせ番号をセットする

条件欄 ◎：必須 ○：選択必須 △：任意

No	Content	条件	Col	Picture	Format	Length	Description
1	レコード区分	◎	1	X(01)	CH	1	レコードの種類を表す「4」
2	データシリアルNo.	◎	2	9(07)	ZD	7	データ通しNo. ファイルヘッダー単位で1番より付番
3	請求行No.	◎	9	X(02)	CH	2	請求明細の行No.
4	出荷配送依頼行No.	◎	11	X(02)	CH	2	発荷主が指定した出荷配送依頼の行No.
5	商品コード(JANコード)	◎	13	X(13)	CH	13	単品JANコード
6	商品コード (メーカープライベートコード)	△	26	X(16)	CH	16	単箱のメーカープライベートコードまたはSDPコード
7	商品名	△	42	X(38)	CH	38	商品名称 か38文字、漢字19文字
8	出荷日	◎	80	X(08)	CH	8	実際に商品を出荷した日(YYYYMMDD)
9	日本語区分	○	88	X(01)	CH	1	△：か表現 1：漢字表現
10	単位	△	89	X(01)	CH	1	出荷した数量単位 1：ケース 2：ボール 3：バラ(個) 5：キログラム 7：グラム 8：ミリグラム 9：リットル
11	数量	△	90	S9(07)	ZD	7	出荷した数量
12	端数単位	△	97	X(01)	CH	1	出荷した1単位未満の端数の単位 1：ケース(単箱) 2：ボール 3：バラ(個) 7：グラム 8：ミリグラム
13	端数	△	98	9(03)	ZD	3	1単位未満の端数
14	請求単位数量	◎	101	9(07)V3	ZD	10	請求単位の数量
15	総重量	◎	111	9(07)V3	ZD	10	キログラム単位
16	距離	△	121	9(04)	ZD	4	キロメートル単位
17	余白		125	X(04)	CH	4	

## 4-1. レコード区分

明細行レコード(1)であることを認識する。固定で「4」をセットする。

## 4-2. データシリアルNo.

ファイルヘッダー単位のデータ通しナンバーをセットする

## 4-3. 請求行No.

請求明細の行No.をセットする

## 4-4. 出荷配送依頼行No.

メーカー(発荷主)が指定した「出荷配送依頼データ」の行No.をセットする

※ 「出荷配送依頼データ」の明細行レコードのNo.3「出荷配送依頼行No.」

#### 4-5. 商品コード(JANコード)

単品のJANコードをセットする

※ 「出荷配送依頼データ」の明細行レコードのNo.5「商品コード(JANコード)」

#### 4-6. 商品コード(メーカープライベートコード)

単箱のメーカープライベートコードまたはSDPコードをセットする

※ 「出荷配送依頼データ」の明細行レコードのNo.6「商品コード(メーカープライベートコード)」

#### 4-7. 商品名

商品名を38文字以内でセットする

漢字を使用する場合、19文字以内でセットする

(漢字を使用する場合、JIS第一、第二水準の範囲とし外字は使用しない)

※ 「出荷配送依頼データ」の明細行オプションレコード(1)のNo.3「商品名」

#### 4-8. 出荷日

実際に商品を出荷した日をYYYYMMDDの形式でセットする

#### 4-9. 日本語区分

4-7. 商品名がかな表現か、漢字表現か、を選択する

△：かな表現 1：漢字表現

#### 4-10. 単位

出荷した数量単位を選択する

1：ケース 2：ボール 3：バラ(個) 5：キログラム 7：グラム 8：ミリグラム 9：リットル

#### 4-11. 数量

出荷した数量をセットする

#### 4-12. 端数単位

出荷した1単位未満の端数の単位を選択する

1：ケース(単箱) 2：ボール 3：バラ(個) 7：グラム 8：ミリグラム

#### 4-13. 端数

1単位未満の端数をセットする

#### 4-14. 請求単位数量

請求単位の数量をセットする

#### 4-15. 総重量

出荷した明細単位の総重量をキログラム単位でセットする

#### 4-16. 距離

輸送距離をキロメートル単位でセットする

条件欄 ◎：必須 ○：選択必須 △：任意

No	Content	条件	Col	Picture	Format	Length	Description
1	レコード区分	◎	1	X(01)	CH	1	レコードの種類を表す「5」
2	データシリアルNo.	◎	2	9(07)	ZD	7	データ通しNo. ファイルヘッダー単位で1番より付番
3	請求行No.	◎	9	X(02)	CH	2	請求明細の行No.
4	出荷配送依頼行No.	◎	11	X(02)	CH	2	発荷主が指定した出荷配送依頼の行No.
5	運賃単価区分	◎	13	X(01)	CH	1	運賃単価の単位を表す区分 △：数量あたり 1：重量あたり
6	運賃単価	◎	14	9(06)V2	ZD	8	No.5「運賃単価区分」あたりの単価
7	基本運賃	◎	22	S9(10)	ZD	10	商品を輸送する際にかかった金額
8	輸送温料	△	32	S9(10)	ZD	10	商品の輸送に際し、保冷車等を使用した場合の金額
9	相殺、立替等金額	△	42	S9(10)	ZD	10	相殺、立替等があった場合の金額
10	値引金額	△	52	S9(10)	ZD	10	値引があった場合の金額
11	運賃	◎	62	S9(10)	ZD	10	運賃および運賃に付随する料金の合計金額
12	税率	△	72	9(02)V2	ZD	4	消費税率
13	税額	△	76	S9(10)	ZD	10	消費税額
14	税込運賃	△	86	S9(10)	ZD	10	税込の運賃
15	余白		96	X(33)	CH	33	

## 5-1. レコード区分

明細行レコード(2)であることを認識する。固定で「5」をセットする。

## 5-2. データシリアルNo.

ファイルヘッダー単位のデータ通しナンバーをセットする

## 5-3. 請求行No.

請求明細の行No.をセットする

※ 4-3. 請求行No.と同じ

## 5-4. 出荷配送依頼行No.

メーカー(発荷主)が指定した「出荷配送依頼データ」の行No.をセットする

※ 「出荷配送依頼データ」の明細行レコードのNo.3「出荷配送依頼行No.」

※ 4-4. 出荷配送依頼行No.と同じ

## 5-5. 運賃単価区分

運賃単価の単位を表す区分を選択する

△：数量あたり 1：重量あたり

## 5-6. 運賃単価

5-5. 運賃単価区分あたりの単価をセットする

5-7. 基本運賃

商品を輸送する際にかかった金額をセットする

5-8. 輸送温料

商品の輸送に際し、保冷車等を使用した場合の金額をセットする

5-9. 相殺、立替等金額

相殺、立替等があった場合の金額をセットする

5-10. 値引金額

値引があった場合の金額をセットする

5-11. 運賃

運賃および運賃に付随する料金の合計金額をセットする

5-12. 税率

消費税率をセットする

5-13. 税額

消費税額をセットする

5-14. 税込運賃

消費税込の運賃をセットする

条件欄 ◎：必須 ○：選択必須 △：任意

No	Content	条件	Col	Picture	Format	Length	Description
1	レコード区分	◎	1	X(01)	CH	1	レコードの種類を表す「6」
2	データシリアルNo.	◎	2	9(07)	ZD	7	データ通しNo. ファイルヘッダー単位で1番より付番
3	請求行No.	◎	9	X(02)	CH	2	請求明細の行No.
4	出荷配送依頼行No.	◎	11	X(02)	CH	2	発荷主が指定した出荷配送依頼の行No.
5	その他請求金額1	△	13	S9(10)	ZD	10	運賃以外の請求金額
6	その他請求金額1理由	△	23	X(30)	CH	30	その他請求金額1の理由 か30文字、漢字15文字
7	その他請求金額2	△	53	S9(10)	ZD	10	運賃以外の請求金額
8	その他請求金額2理由	△	63	X(30)	CH	30	その他請求金額2の理由 か30文字、漢字15文字
9	メッセージ	△	93	X(26)	CH	26	明細行単位の備考 か26文字、漢字13文字
10	日本語区分	○	119	X(01)	CH	1	△：か表現 1：漢字表現
11	余白		120	X(09)	CH	9	

## 6-1. レコード区分

明細行オプションレコードであることを認識する。固定で「6」をセットする。

## 6-2. データシリアルNo.

ファイルヘッダー単位のデータ通しナンバーをセットする

## 6-3. 請求行No.

請求明細の行No.をセットする

※ 4-3. 請求行No.と同じ

## 6-4. 出荷配送依頼行No.

メーカー(発荷主)が指定した「出荷配送依頼データ」の行No.をセットする

※ 「出荷配送依頼データ」の明細行レコードのNo.3「出荷配送依頼行No.」

※ 4-4. 出荷配送依頼行No.と同じ

## 6-5. その他請求金額1

運賃以外の請求金額をセットする

## 6-6. その他請求金額1理由

その他請求金額1の理由をか30文字以内でセットする

漢字を使用する場合、15文字以内でセットする

(漢字を使用する場合、JIS第一、第二水準の範囲とし外字は使用しない)

## 6-7. その他請求金額2

運賃以外の請求金額をセットする

6-8. その他請求金額 2 理由

その他請求金額2の理由をｶ30文字以内でセットする

漢字を使用する場合、15文字以内でセットする

(漢字を使用する場合、JIS第一、第二水準の範囲とし外字は使用しない)

6-9. メッセージ

明細行単位の備考をｶ26文字以内でセットする

漢字を使用する場合、13文字以内でセットする

(漢字を使用する場合、JIS第一、第二水準の範囲とし外字は使用しない)

6-10. 日本語区分

6-6. その他請求金額1理由、6-8. その他請求金額2理由、6-9. メッセージがｶ表現か、漢字表現か、を選択する

△：ｶ表現 1：漢字表現

条件欄 ◎：必須 ○：選択必須 △：任意

No	Content	条件	Col	Picture	Format	Length	Description
1	レコード区分	◎	1	X(01)	CH	1	レコードの種類を表わす「8」
2	データシリアルNo.	◎	2	9(07)	ZD	7	データ通しNo. ファイルヘッダー単位で1番より付番
3	レコード件数	◎	9	9(06)	ZD	6	1つのファイル(ファイルヘッダー単位)に含まれるファイルヘッダーからエンドレコードまでを含んだレコード数
4	余白		15	X(114)	CH	114	

## 8-1. レコード区分

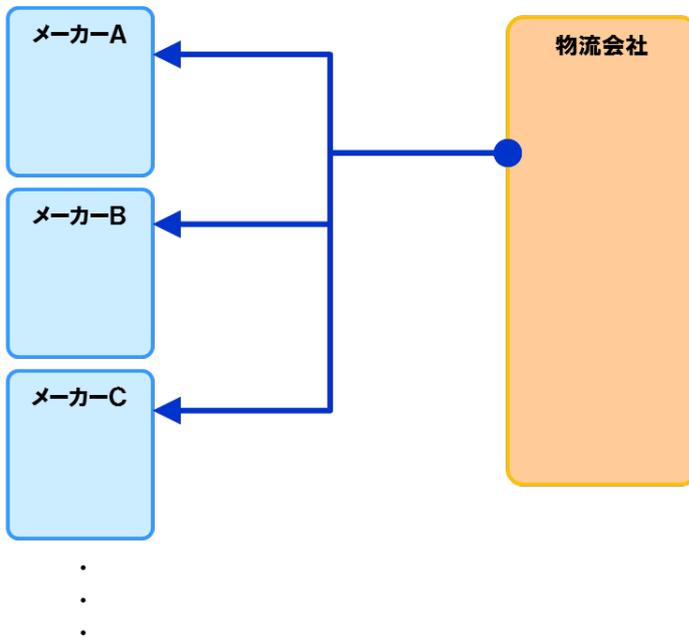
エンドレコードであることを認識する。固定で「8」をセットする。

## 8-2. データシリアルNo.

ファイルヘッダー単位のデータ通しナンバーをセットする

## IV. 運賃請求データ

### 1. 運賃請求データとは



物流会社からメーカー(発荷主)に対して、月次、または締め期間に請求する運賃等を連絡する。

これにより、受信するメーカー(発荷主)は、照合がデータ突合となり、精度、速度が大幅に改善する。

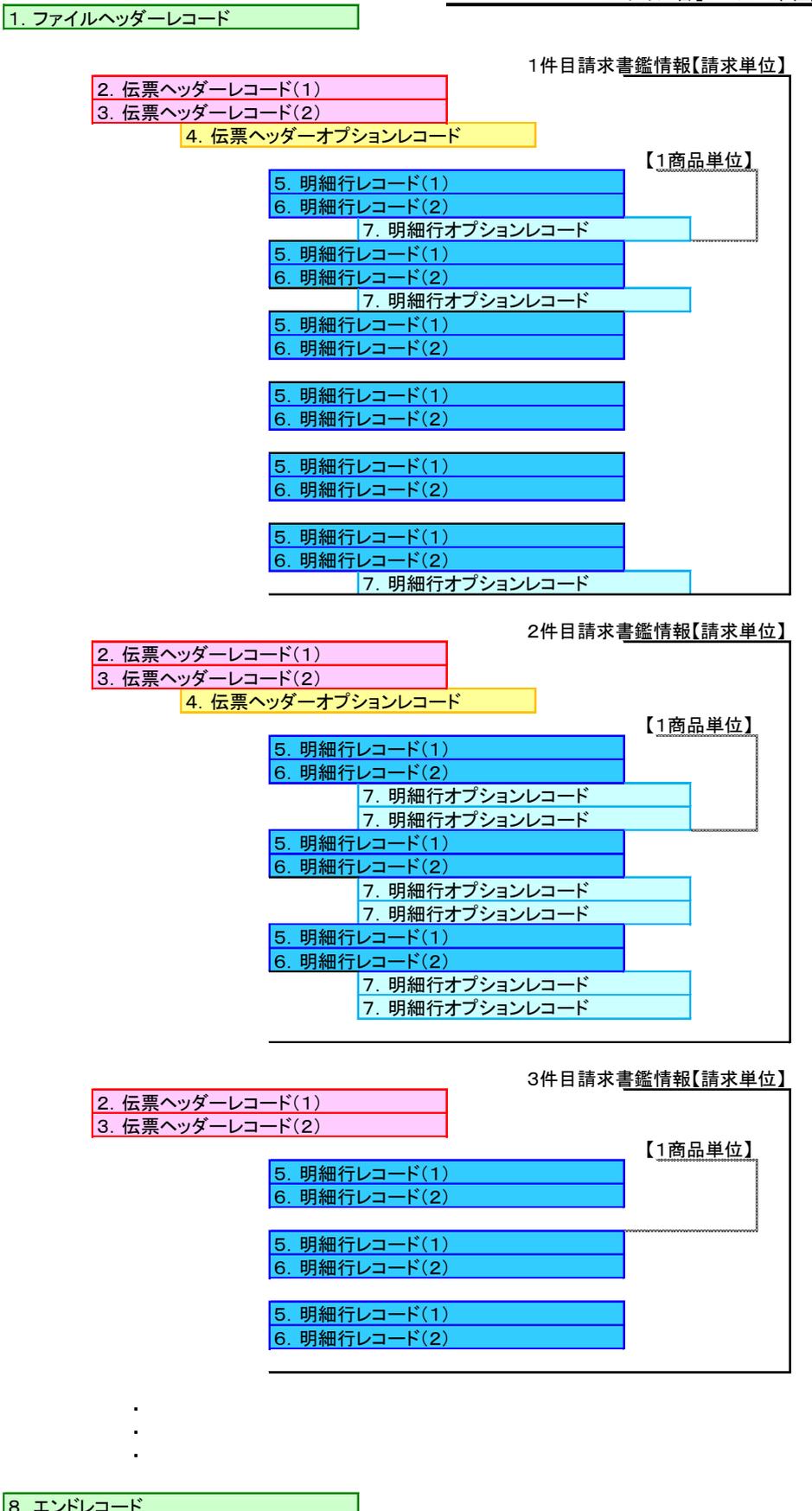
また、書面の請求明細を保管する必要がなくなる。

### 2. レコードの種類と主な項目



### 3. レコードの作成イメージ

1ファイル目【メーカー単位】



## 4. フォーマットおよび使用ガイド

運賃請求データ	1. ファイルヘッダーレコード	【必須】
---------	-----------------	------

条件欄 ◎：必須 ○：選択必須 △：任意

No	Content	条件	Col	Pic-ture	For-mat	Len-gth	Description
1	レコード区分	◎	1	X(01)	CH	1	レコードの種類を表わす「1」
2	データシリアルNo.	◎	2	9(07)	ZD	7	ファイルヘッダー単位に'0000001'より付番(連番)
3	データ種別	◎	9	X(02)	CH	2	'7D'固定(運賃請求)
4	データ作成日付	◎	11	X(06)	CH	6	提供企業がデータをファイルに入力した日付
5	データ作成時刻	△	17	X(06)	CH	6	提供企業がデータをファイルに入力した時刻
6	ファイルNo.	◎	23	X(02)	CH	2	同時送信時の複数ファイル区別のkey'01'よりスタート
7	データ処理日	◎	25	X(06)	CH	6	提供者のデータ処理日
8	利用者企業コード (受け手)	◎	31	X(12)	CH	12	データの宛先
9	データ送信元センターコード	◎	43	X(06)	CH	6	データを提供する企業のコード及びセンターのコード
10	'' (予備)	△	49	X(02)	CH	2	予備
11	最終送信先コード	◎	51	X(06)	CH	6	データを受け取る最終の企業コード
12	最終送信先 ステーションアドレス	◎	57	X(02)	CH	2	内容は任意
13	直接送信宛先企業コード	○	59	X(06)	CH	6	中継センターの企業コード
14	'' (ステーションアドレス)	○	65	X(02)	CH	2	内容は任意
15	提供企業コード	◎	67	X(12)	CH	12	提供企業のコード
16	提供企業事業所コード	○	79	X(12)	CH	12	提供企業の取引発生事業所コード
17	提供企業名	◎	91	X(15)	CH	15	提供企業の社名
18	提供企業照会事業所名	○	106	X(10)	CH	10	提供企業事務所の社名
19	送信データ件数	△	116	9(06)	ZD	6	レコード件数(ファイルヘッダー～エンドレコード迄)もしくは'000000'
20	レコードサイズ	◎	122	9(03)	ZD	3	'128'固定
21	データ有無サイン	◎	125	X(01)	CH	1	△：通常, 1：データ無し
22	フォーマットバージョンNo.	◎	126	X(01)	CH	1	'1'固定
23	余白		127	X(02)	CH	2	余白

### 1-3. データ種別

運賃請求データを表す「7D」固定

条件欄 ◎：必須 ○：選択必須 △：任意

No	Content	条件	Col	Pic-ture	For-mat	Len-gth	Description
1	レコード区分	◎	1	X(01)	C H	1	レコードの種類を表す「2」
2	データシリアルNo.	◎	2	9(07)	Z D	7	データ通しNo. ファイルヘッダー単位で1番より付番
3	運賃請求No.	◎	9	X(11)	C H	11	請求元企業が付番する運賃請求No.
4	元運賃請求No.	△	20	X(11)	C H	11	情報の訂正/取消時、元の運賃請求No.
5	請求区分	◎	31	X(01)	C H	1	情報の訂正/取消(赤黒区分)を表すコード △：通常 1：取消 2：取消修正(黒)
6	訂正理由区分	◎	32	X(01)	C H	1	情報の訂正/取消の理由を表すコード △：正常 1：数量訂正 2：品名訂正 3：単価訂正 4：重複訂正 9：その他
7	訂正理由	△	33	X(50)	C H	50	情報の訂正/取消の理由 か50文字、漢字25文字
8	日本語区分	○	83	X(01)	C H	1	△：か表現 1：漢字表現
9	請求年月日	◎	84	X(08)	C H	8	代金請求の年月日(YYYYMMDD)
10	元請求年月日	△	92	X(08)	C H	8	情報の訂正/取消時、元の請求年月日 (YYYYMMDD)
11	請求対象開始年月日	△	100	X(08)	C H	8	請求対象となる開始年月日(YYYYMMDD)
12	請求対象終了年月日	△	108	X(08)	C H	8	請求対象となる終了年月日(YYYYMMDD)
13	決済年月日	△	116	X(08)	C H	8	代金の支払日(YYYYMMDD)
14	決済方法	△	124	X(01)	C H	1	決済方法を表すコード △：現金 1：手形 2：口座振替 9：その他
15	余白		125	X(04)	C H	4	

## 2-1. レコード区分

伝票ヘッダーレコード(1)であることを認識する。固定で「2」をセットする。

## 2-2. データシリアルNo.

ファイルヘッダー単位のデータ通しナンバーをセットする

## 2-3. 運賃請求No.

請求元企業が付番した運賃請求No.をセットする

※ 「納入実績データ」の伝票ヘッダーレコードのNo.16「運賃請求No.」

## 2-4. 元運賃請求No.

訂正時、請求元企業が指定した元の運賃請求No.(2-3.)をセットする

## 2-5. 請求区分

情報の訂正／取消(赤黒区分)を表すコードを選択する

△：通常 1：取消 2：取消修正(黒)

※ 「納入実績データ」の伝票ヘッダーレコードのNo.5「出荷配送区分」

## 2-6. 訂正理由区分

情報の訂正／取消の理由を表すコードを選択する

△：正常 1：数量訂正 2：品名訂正 3：単価訂正 4：重複訂正 9：その他

※ 「納入実績データ」の伝票ヘッダーレコードのNo.6「訂正理由区分」

## 2-7. 訂正理由

情報の訂正／取消の理由をが50文字以内でセットする

漢字を使用する場合、25文字以内でセットする

(漢字を使用する場合、JIS第一、第二水準の範囲とし外字は使用しない)

## 2-8. 日本語区分

2-7. 訂正理由ががけ表現か、漢字表現か、を選択する

△：がけ表現 1：漢字表現

## 2-9. 請求年月日

運賃を請求する年月日をYYYYMMDDの形式でセットする

## 2-10. 元請求年月日

情報の訂正／取消時、元の請求年月日(2-9. )をYYYYMMDDの形式でセットする

## 2-11. 請求対象開始年月日

請求対象となる開始年月日をYYYYMMDDの形式でセットする

## 2-12. 請求対象終了年月日

請求対象となる終了年月日をYYYYMMDDの形式でセットする

## 2-13. 決済年月日

運賃の支払日をYYYYMMDDの形式でセットする

## 2-14. 決済方法

決済方法を表すコードを選択する

△：現金 1：手形 2：口座振替 9：その他

条件欄 ◎：必須 ○：選択必須 △：任意

No	Content	条件	Col	Picture	Format	Length	Description
1	レコード区分	◎	1	X(01)	CH	1	レコードの種類を表す「3」
2	データシリアルNo.	◎	2	9(07)	ZD	7	データ通しNo. ファイルヘッダー単位で1番より付番
3	基本運賃合計	◎	9	S9(10)	ZD	10	明細行レコードの基本運賃の合計
4	輸送温料合計	△	19	S9(10)	ZD	10	明細行レコードの輸送温料の合計
5	その他請求金額合計	△	29	S9(10)	ZD	10	明細行レコードのその他請求金額の合計
6	相殺、立替等金額合計	△	39	S9(10)	ZD	10	明細行レコードの相殺、立替金額の合計
7	値引金額合計	△	49	S9(10)	ZD	10	明細行レコードの値引金額の合計
8	運賃合計	◎	59	S9(10)	ZD	10	明細行レコードの運賃の合計
9	税額合計	△	69	S9(10)	ZD	10	明細行レコードの運賃税額の合計
10	税込運賃合計	△	79	S9(10)	ZD	10	明細行レコードの税込運賃の合計
11	前回請求金額	△	89	S9(10)	ZD	10	前回請求先企業に請求した金額
12	前回入金金額	△	99	S9(10)	ZD	10	前回請求先企業より入金された金額
13	前回繰越額	△	109	S9(10)	ZD	10	前回の請求金額に対して、入金額と差があった場合の金額 「前回繰越額」=「前回請求金額」-「前回入金金額」
14	今回請求額	◎	119	S9(10)	ZD	10	今回請求先企業に請求する金額

## 3-1. レコード区分

伝票ヘッダーレコード(2)であることを認識する。固定で「3」をセットする。

## 3-2. データシリアルNo.

ファイルヘッダー単位のデータ通しナンバーをセットする

## 3-3. 基本運賃合計

明細行レコード(2)のNo.8「基本運賃」の合計額をセットする

## 3-4. 輸送温料合計

明細行レコード(2)のNo.9「輸送温料」の合計額をセットする

## 3-5. その他請求金額合計

明細行オプションレコードのNo.6「その他請求金額1」およびNo.8「その他請求金額2」の合計額をセットする

## 3-6. 相殺、立替等金額合計

明細行レコード(2)のNo.10「相殺、立替等金額」の合計額をセットする

## 3-7. 値引金額合計

明細行レコード(2)のNo.11「値引金額」の合計額をセットする

3-8. 運賃合計

明細行レコード(2)のNo.12「運賃」の合計額をセットする

3-9. 税額合計

明細行レコード(2)のNo.14「税額」の合計額をセットする

3-10. 税込運賃合計

明細行レコード(2)のNo.15「税込運賃」の合計額をセットする

3-11. 前回請求金額

前回請求先企業に請求した金額をセットする

3-12. 前回入金額

前回請求先企業より入金された金額をセットする

3-13. 前回繰越額

前回の請求金額に対して、入金額と差があった場合の金額をセットする

前回繰越額 = 3-11. 前回請求金額 - 3-12. 前回入金額

3-14. 今回請求額

今回請求先企業に請求する金額をセットする

条件欄 ◎：必須 ○：選択必須 △：任意

No	Content	条件	Col	Picture	Format	Length	Description
1	レコード区分	◎	1	X(01)	CH	1	レコードの種類を表す「4」
2	データシリアルNo.	◎	2	9(07)	ZD	7	データ通しNo. ファイルヘッダー単位で1番より付番
3	納品先コード	△	9	X(12)	CH	12	納品先を表すコード 業界統一コードの設定がなければ、 プライベートコードを使用
4	社名、店名、取引先名	△	21	X(40)	CH	40	納品先名 か40文字、漢字20文字
5	備考	△	61	X(50)	CH	50	請求書単位の備考 か50文字、漢字25文字
6	日本語区分	○	111	X(01)	CH	1	△：か表現 1：漢字表現
7	全国地方公共団体コード	△	112	X(05)	CH	5	納品先のコード 総務省が定めるコード、チェックデジットを除く
8	総重量	△	117	9(7)V3	ZD	10	キログラム単位
9	余白		127	X(02)	CH	2	

## 4-1. レコード区分

伝票ヘッダーオプションレコードであることを認識する。固定で「4」をセットする。

## 4-2. データシリアルNo.

ファイルヘッダー単位のデータ通しナンバーをセットする

## 4-3. 納品先コード

納品先を表すコードをセットする

統一取引先コードの設定がなければ、プライベートコードを使用する

## 4-4. 社名、店名、取引先名

納品先の名称をか40文字以内でセットする

漢字を使用する場合、20文字以内でセットする

(漢字を使用する場合、JIS第一、第二水準の範囲とし外字は使用しない)

## 4-5. 備考

請求書単位の備考をか50文字以内でセットする

漢字を使用する場合、25文字以内でセットする

(漢字を使用する場合、JIS第一、第二水準の範囲とし外字は使用しない)

## 4-6. 日本語区分

4-4. 社名、店名、取引先名、4-5. 備考がか表現か、漢字表現か、を選択する

△：か表現 1：漢字表現

#### 4-7. 全国地方公共団体コード

総務省が定める納品先のコードをセットする(チェックデジットを除く)

※ 「納入実績データ」の伝票ヘッダーオプションレコードのNo.13「全国地方公共団体コード」

#### 4-8. 総重量

明細行レコード(1)のNo.16「総重量」の合計値をキログラム単位でセットする

条件欄 ◎：必須 ○：選択必須 △：任意

No	Content	条件	Col	Picture	Format	Length	Description
1	レコード区分	◎	1	X(01)	CH	1	レコードの種類を表す「5」
2	データシリアルNo.	◎	2	9(07)	ZD	7	データ通しNo. ファイルヘッダー単位で1番より付番
3	請求行No.	◎	9	X(02)	CH	2	請求明細の行No.
4	出荷配送依頼No.	◎	11	X(08)	CH	8	発荷主が指定した出荷配送依頼No.
5	出荷配送依頼行No.	◎	19	X(02)	CH	2	発荷主が指定した出荷配送依頼の行No.
6	商品コード(JANコード)	◎	21	X(13)	CH	13	単品JANコード 商品に紐付かない運賃の場合、ダミーのコードをセット
7	商品コード (メーカープライベートコード)	△	34	X(16)	CH	16	単箱のメーカープライベートコードまたはSDPコード
8	商品名	△	50	X(38)	CH	38	商品名称 か38文字、漢字19文字
9	出荷日	◎	88	X(08)	CH	8	実際に商品を出荷した日(YYYYMMDD)
10	日本語区分	○	96	X(01)	CH	1	△：か表現 1：漢字表現
11	単位	△	97	X(01)	CH	1	出荷した数量単位 1：ケース 2：ボール 3：バラ(個) 5：キログラム 7：グラム 8：ミリグラム 9：リットル
12	数量	△	98	S9(07)	ZD	7	出荷した数量
13	端数単位	△	105	X(01)	CH	1	出荷した1単位未満の端数の単位 1：ケース(単箱) 2：ボール 3：バラ(個) 7：グラム 8：ミリグラム
14	端数	△	106	9(03)	ZD	3	1単位未満の端数
15	請求単位数量	◎	109	9(07)V3	ZD	10	請求単位の数量
16	総重量	◎	119	9(07)V3	ZD	10	キログラム単位

## 5-1. レコード区分

明細行レコード(1)であることを認識する。固定で「5」をセットする。

## 5-2. データシリアルNo.

ファイルヘッダー単位のデータ通しナンバーをセットする

## 5-3. 請求行No.

請求明細の行No.をセットする

※ 「納入実績データ」の明細行レコード(1)のNo.3「請求行No.」

#### 5-4. 出荷配送依頼No.

メーカー(発荷主)が指定した「出荷配送依頼データ」の出荷配送依頼No.をセットする

※ 「納入実績データ」の伝票ヘッダーレコードのNo.3「出荷配送依頼No.」

#### 5-5. 出荷配送依頼行No.

メーカー(発荷主)が指定した「出荷配送依頼データ」の出荷配送依頼行No.をセットする

※ 「納入実績データ」の明細行レコード(1)のNo.4「出荷配送依頼行No.」

#### 5-6. 商品コード(JANコード)

単品のJANコードをセットする

※ 「納入実績データ」の明細行レコード(1)のNo.5「商品コード(JANコード)」

#### 5-7. 商品コード(メーカープライベートコード)

単箱のメーカープライベートコードまたはSDPコードをセットする

※ 「納入実績データ」の明細行レコード(1)のNo.6「商品コード(メーカープライベートコード)」

#### 5-8. 商品名

商品名を38文字以内でセットする

漢字を使用する場合、19文字以内でセットする

(漢字を使用する場合、JIS第一、第二水準の範囲とし外字は使用しない)

※ 「納入実績データ」の明細行レコード(1)のNo.7「商品名」

#### 5-9. 出荷日

実際に商品を出荷した日をYYYYMMDDの形式でセットする

※ 「納入実績データ」の明細行レコード(1)のNo.8「出荷日」

#### 5-10. 日本語区分

5-8. 商品名がかな表現か、漢字表現か、を選択する

△：かな表現 1：漢字表現

#### 5-11. 単位

出荷した数量単位を選択する

1：ケース 2：ボール 3：バラ(個) 5：キログラム 7：グラム 8：ミリグラム 9：リットル

※ 「納入実績データ」の明細行レコード(1)のNo.10「単位」

#### 5-12. 数量

出荷した数量をセットする

※ 「納入実績データ」の明細行レコード(1)のNo.11「数量」

#### 5-13. 端数単位

出荷した1単位未満の端数の単位を選択する

1：ケース(単箱) 2：ボール 3：バラ(個) 7：グラム 8：ミリグラム

※ 「納入実績データ」の明細行レコード(1)のNo.12「端数単位」

#### 5-14. 端数

1単位未満の端数をセットする

※ 「納入実績データ」の明細行レコード(1)のNo.13「端数」

5-15. 請求単位数量

請求単位の数量をセットする

※ 「納入実績データ」の明細行レコード(1)のNo.14「請求単位数量」

5-16. 総重量

出荷した明細単位の総重量をキログラム単位でセットする

条件欄 ◎：必須 ○：選択必須 △：任意

No	Content	条件	Col	Picture	Format	Length	Description
1	レコード区分	◎	1	X(01)	CH	1	レコードの種類を表す「6」
2	データシリアルNo.	◎	2	9(07)	ZD	7	データ通しNo. ファイルヘッダー単位で1番より付番
3	請求行No.	◎	9	X(02)	CH	2	請求明細の行No.
4	出荷配送依頼No.	◎	11	X(08)	CH	8	発荷主が指定した出荷配送依頼No.
5	出荷配送依頼行No.	◎	19	X(02)	CH	2	発荷主が指定した出荷配送依頼の行No.
6	運賃単価区分	◎	21	X(01)	CH	1	運賃単価の単位を表す区分 △：数量あたり 1：重量あたり
7	運賃単価	◎	22	9(06)V2	ZD	8	No.6「運賃単価区分」あたりの単価
8	基本運賃	◎	30	S9(10)	ZD	10	商品を輸送する際にかかった金額
9	輸送温料	△	40	S9(10)	ZD	10	商品の輸送に際し、保冷車等を使用した場合の金額
10	相殺、立替等金額	△	50	S9(10)	ZD	10	相殺、立替等があった場合の金額
11	値引金額	△	60	S9(10)	ZD	10	値引があった場合の金額
12	運賃	◎	70	S9(10)	ZD	10	運賃および運賃に付随する料金の合計金額
13	税率	△	80	9(02)V2	ZD	4	消費税率
14	税額	△	84	S9(10)	ZD	10	消費税額
15	税込運賃	△	94	S9(10)	ZD	10	税込の運賃
16	配送区分(モード)	△	104	X(02)	CH	2	01：路線便 02：個建(宅配便) 03：共配 04：区域 05：コンテナ 06：貨車 07：船舶 08：航空 09：共配扱路線 10：共配扱区域 11：共配希望区域 90：その他
17	余白		106	X(23)	CH	23	

## 6-1. レコード区分

明細行レコード(2)であることを認識する。固定で「6」をセットする。

## 6-2. データシリアルNo.

ファイルヘッダー単位のデータ通しナンバーをセットする

## 6-3. 請求行No.

請求明細の行No.をセットする

※ 5-3. 請求行No.と同じ

## 6-4. 出荷配送依頼No.

メーカー(発荷主)が指定した「出荷配送依頼データ」の出荷配送依頼No.をセットする

※ 5-4. 出荷配送依頼No.と同じ

- 6-5. 出荷配送依頼行 No.  
メーカー(発荷主)が指定した「出荷配送依頼データ」の行No.をセットする  
※ 5-5. 出荷配送依頼行No.と同じ
- 6-6. 運賃単価区分  
運賃単価の単位を表す区分を選択する  
△ : 数量あたり 1 : 重量あたり  
※ 「納入実績データ」の明細行レコード(2)のNo.5「運賃単価区分」
- 6-7. 運賃単価  
6-6. 運賃単価区分あたりの単価をセットする  
※ 「納入実績データ」の明細行レコード(2)のNo.6「運賃単価」
- 6-8. 基本運賃  
商品を輸送する際にかかった金額をセットする  
※ 「納入実績データ」の明細行レコード(2)のNo.7「基本運賃」
- 6-9. 輸送温料  
商品の輸送に際し、保冷車等を使用した場合の金額をセットする  
※ 「納入実績データ」の明細行レコード(2)のNo.8「輸送温料」
- 6-10. 相殺、立替等金額  
相殺、立替等があった場合の金額をセットする  
※ 「納入実績データ」の明細行レコード(2)のNo.9「相殺、立替金額」
- 6-11. 値引金額  
値引があった場合の金額をセットする  
※ 「納入実績データ」の明細行レコード(2)のNo.10「値引金額」
- 6-12. 運賃  
運賃および運賃に付随する料金の合計金額をセットする  
※ 「納入実績データ」の明細行レコード(2)のNo.11「運賃」
- 6-13. 税率  
消費税率をセットする  
※ 「納入実績データ」の明細行レコード(2)のNo.12「税率」
- 6-14. 税額  
消費税額をセットする  
※ 「納入実績データ」の明細行レコード(2)のNo.13「税額」
- 6-15. 税込運賃  
消費税込の運賃をセットする  
※ 「納入実績データ」の明細行レコード(2)のNo.14「税込運賃」

## 6-16. 配送区分(モード)

配送区分を選択する

01：路線便 02：個建（宅配便） 03：共配 04：区域 05：コンテナ  
06：貨車 07：船舶 08：航空 09：共配扱路線 10：共配扱区域  
11：共配希望区域 90：その他

※ 「納入実績データ」の伝票ヘッダーオプションレコードのNo.14「配送区分(モード)」

条件欄 ◎：必須 ○：選択必須 △：任意

No	Content	条件	Col	Picture	Format	Length	Description
1	レコード区分	◎	1	X(01)	CH	1	レコードの種類を表す「7」
2	データシリアルNo.	◎	2	9(07)	ZD	7	データ通しNo. ファイルヘッダー単位で1番より付番
3	請求行No.	◎	9	X(02)	CH	2	請求明細の行No.
4	出荷配送依頼No.	◎	11	X(08)	CH	8	発荷主が指定した出荷配送依頼No.
5	出荷配送依頼行No.	◎	19	X(02)	CH	2	発荷主が指定した出荷配送依頼の行No.
6	その他請求金額1	△	21	S9(10)	ZD	10	運賃以外の請求金額
7	その他請求金額1理由	△	31	X(30)	CH	30	その他請求金額1の理由 か30文字、漢字15文字
8	その他請求金額2	△	61	S9(10)	ZD	10	運賃以外の請求金額
9	その他請求金額2理由	△	71	X(30)	CH	30	その他請求金額2の理由 か30文字、漢字15文字
10	メッセージ	△	101	X(26)	CH	26	明細行単位の備考 か26文字、漢字13文字
11	日本語区分	○	127	X(01)	CH	1	△：か表現 1：漢字表現
12	余白		128	X(01)	CH	1	

## 7-1. レコード区分

明細行オプションレコードであることを認識する。固定で「7」をセットする。

## 7-2. データシリアルNo.

ファイルヘッダー単位のデータ通しナンバーをセットする

## 7-3. 請求行No.

請求明細の行No.をセットする

※ 5-3. 請求行No.と同じ

## 7-4. 出荷配送依頼No.

メーカー(発荷主)が指定した「出荷配送依頼データ」の出荷配送依頼No.をセットする

※ 5-4. 出荷配送依頼No.と同じ

## 7-5. 出荷配送依頼行No.

メーカー(発荷主)が指定した「出荷配送依頼データ」の行No.をセットする

※ 5-5. 出荷配送依頼行No.と同じ

## 7-6. その他請求金額1

運賃以外の請求金額をセットする

※ 「納入実績データ」の明細行オプションレコードのNo.5「その他請求金額1」

#### 7-7. その他請求金額1理由

その他請求金額1の理由をｶ30文字以内でセットする

漢字を使用する場合、15文字以内でセットする

(漢字を使用する場合、JIS第一、第二水準の範囲とし外字は使用しない)

※ 「納入実績データ」の明細行オプションレコードのNo.6「その他請求金額1理由」

#### 7-8. その他請求金額2

運賃以外の請求金額をセットする

※ 「納入実績データ」の明細行オプションレコードのNo.7「その他請求金額2」

#### 7-9. その他請求金額2理由

その他請求金額2の理由をｶ30文字以内でセットする

漢字を使用する場合、15文字以内でセットする

(漢字を使用する場合、JIS第一、第二水準の範囲とし外字は使用しない)

※ 「納入実績データ」の明細行オプションレコードのNo.8「その他請求金額2理由」

#### 7-10. メッセージ

明細行単位の備考をｶ26文字以内でセットする

漢字を使用する場合、13文字以内でセットする

(漢字を使用する場合、JIS第一、第二水準の範囲とし外字は使用しない)

※ 「納入実績データ」の明細行オプションレコードのNo.9「メッセージ」

#### 7-11. 日本語区分

7-7. その他請求金額1理由、7-9. その他請求金額2理由、7-10. メッセージがｶ表現か、漢字表現か、を選択する

△：ｶ表現 1：漢字表現

条件欄 ◎：必須 ○：選択必須 △：任意

No	Content	条件	Col	Picture	Format	Length	Description
1	レコード区分	◎	1	X(01)	CH	1	レコードの種類を表わす「8」
2	データシリアルNo.	◎	2	9(07)	ZD	7	データ通しNo. ファイルヘッダー単位で1番より付番
3	レコード件数	◎	9	9(06)	ZD	6	1つのファイル(ファイルヘッダー単位)に含まれるファイルヘッダーからエンドレコードまでを含んだレコード数
4	余白		15	X(114)	CH	114	

## 8-1. レコード区分

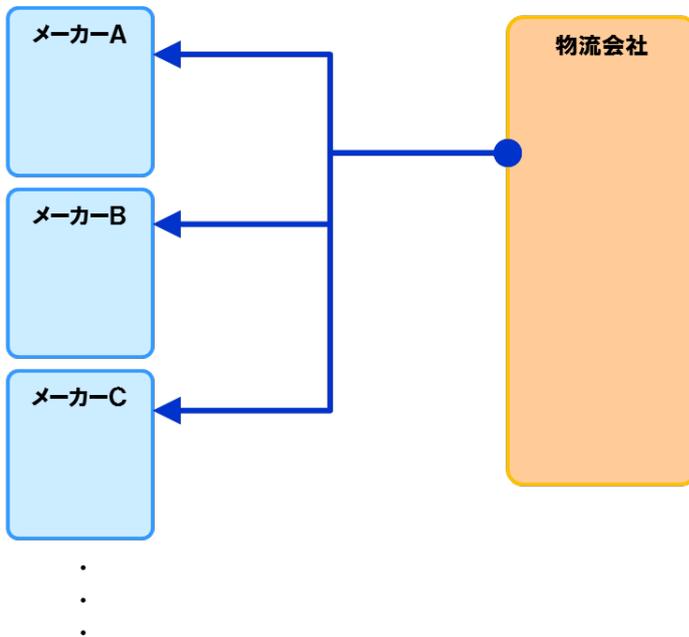
エンドレコードであることを認識する。固定で「8」をセットする。

## 8-2. データシリアルNo.

ファイルヘッダー単位のデータ通しナンバーをセットする

## V. 倉庫料(保管料)請求データ

### 1. 倉庫料(保管料)請求データとは



物流会社からメーカー(発荷主)に対して、月次、または締め期間の倉庫料、保管料、荷役料、諸掛等を連絡する。

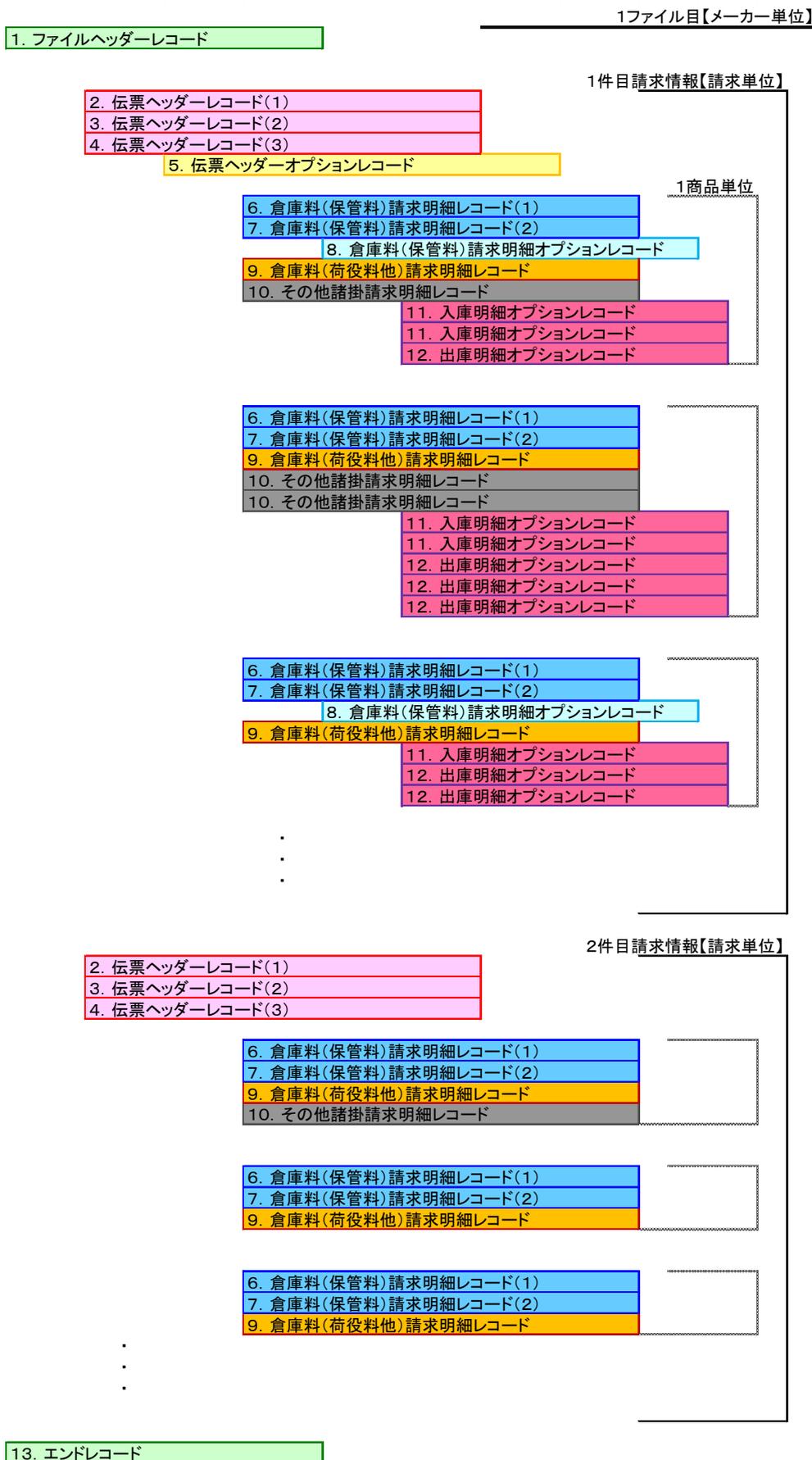
これにより、受信するメーカー(発荷主)は、照合がデータ突合となり、精度、速度が大幅に改善する。

また、書面の請求明細を保管する必要がなくなる。

### 2. レコードの種類と主な項目



### 3. レコードの作成イメージ



6. 倉庫料(保管料)請求明細レコード(1)

7. 倉庫料(保管料)請求明細レコード(2)

9. 倉庫料(荷役料他)請求明細レコード

6. 倉庫料(保管料)請求明細レコード(1)

7. 倉庫料(保管料)請求明細レコード(2)

9. 倉庫料(荷役料他)請求明細レコード

13. エンドレコード

## 4. フォーマットおよび使用ガイド

倉庫料(保管料)請求データ	1. ファイルヘッダーレコード	【必須】
---------------	-----------------	------

条件欄 ◎：必須 ○：選択必須 △：任意

No	Content	条件	Col	Picture	Format	Length	Description
1	レコード区分	◎	1	X(01)	CH	1	レコードの種類を表わす「1」
2	データシリアルNo.	◎	2	9(07)	ZD	7	ファイルヘッダー単位に'0000001'より付番(連番)
3	データ種別	◎	9	X(02)	CH	2	'7E'固定(倉庫料(保管料)請求)
4	データ作成日付	◎	11	X(06)	CH	6	提供企業がデータをファイルに入力した日付
5	データ作成時刻	△	17	X(06)	CH	6	提供企業がデータをファイルに入力した時刻
6	ファイルNo.	◎	23	X(02)	CH	2	同時送信時の複数ファイル区別のkey'01'よりスタート
7	データ処理日	◎	25	X(06)	CH	6	提供者のデータ処理日
8	利用者企業コード (受け手)	◎	31	X(12)	CH	12	データの宛先
9	データ送信元センターコード	◎	43	X(06)	CH	6	データを提供する企業のコード及びセンターのコード
10	〃 (予備)	△	49	X(02)	CH	2	予備
11	最終送信先コード	◎	51	X(06)	CH	6	データを受け取る最終の企業コード
12	最終送信先 ステーションアドレス	◎	57	X(02)	CH	2	内容は任意
13	直接送信宛先企業コード	○	59	X(06)	CH	6	中継センターの企業コード
14	〃 (ステーションアドレス)	○	65	X(02)	CH	2	内容は任意
15	提供企業コード	◎	67	X(12)	CH	12	提供企業のコード
16	提供企業事業所コード	○	79	X(12)	CH	12	提供企業の取引発生事業所コード
17	提供企業名	◎	91	X(15)	CH	15	提供企業の社名
18	提供企業照会事業所名	○	106	X(10)	CH	10	提供企業事務所の社名
19	送信データ件数	△	116	9(06)	ZD	6	レコード件数(ファイルヘッダー～エンドレコード迄)もしくは'000000'
20	レコードサイズ	◎	122	9(03)	ZD	3	'128'固定
21	データ有無サイン	◎	125	X(01)	CH	1	△：通常, 1：データ無し
22	フォーマットバージョンNo.	◎	126	X(01)	CH	1	'1'固定
23	余白		127	X(02)	CH	2	余白

### 1-3. データ種別

倉庫料(保管料)請求データを表す「7E」固定

条件欄 ◎：必須 ○：選択必須 △：任意

No	Content	条件	Col	Pic-ture	For-mat	Len-gth	Description
1	レコード区分	◎	1	X(01)	C H	1	レコードの種類を表す「2」
2	データシリアルNo.	◎	2	9(07)	Z D	7	データ通しNo. ファイルヘッダー単位で1番より付番
3	倉庫料(保管料)請求No.	◎	9	X(11)	C H	11	請求元企業(倉庫事業者)が決める倉庫料(保管料)請求No.
4	元請求No.	△	20	X(11)	C H	11	情報を訂正/取消する場合の元倉庫料(保管料)請求No.
5	請求区分	◎	31	X(01)	C H	1	情報の訂正/取消(赤黒区分)を表すコード △：通常 1：取消 2：取消修正(黒)
6	訂正理由区分	◎	32	X(01)	C H	1	情報の訂正/取消の理由を表すコード △：正常 1：数量訂正 2：品名訂正 3：単価訂正 4：重複訂正 9：その他
7	訂正理由	△	33	X(50)	C H	50	情報の訂正/取消の理由 か50文字/漢字25文字
8	日本語区分	○	83	X(01)	C H	1	△：か表現 1：漢字表現
9	請求年月日	◎	84	X(08)	C H	8	代金請求の年月日(YYYYMMDD)
10	元請求年月日	△	92	X(08)	C H	8	情報を訂正/取消する場合の元の請求年月日(YYYYMMDD)
11	請求対象開始年月日	△	100	X(08)	C H	8	請求対象となる開始年月日(YYYYMMDD)
12	請求対象終了年月日	△	108	X(08)	C H	8	請求対象となる終了年月日(YYYYMMDD)
13	決済年月日	△	116	X(08)	C H	8	代金の支払日(YYYYMMDD)
14	決済方法	△	124	X(01)	C H	1	決済方法を表すコード △：現金 1：手形 2：口座振替 9：その他
15	請求内容区分	△	125	X(01)	C H	1	請求内容(種類)を表すコード △：通常 1：一括 2：出切れ 3：名義変更 4：坪借 9：その他(在庫証明)
16	請求期区分	△	126	X(01)	C H	1	請求明細の集計期間の区分 1：月次 2：上下期(二期) 3：上中下期(三期) ※「1：月次」を選択の場合、集計は、6. 倉庫料(保管料)請求明細レコード(1)の「一期分」を使用 ※「2：上下期(二期)」を選択の場合、集計は、6. 倉庫料(保管料)請求明細レコード(1)の「一期分」および「二期分」を使用
17	余白		127	X(02)	C H	2	

## 2-1. レコード区分

得意先情報レコードであることを認識する。固定で「2」をセットする。

- 2-2. データシリアル No.  
ファイルヘッダー単位のデータ通しナンバーをセットする
- 2-3. 倉庫料(保管料)請求No.  
請求元企業(倉庫事業者)が決める倉庫料(保管料)請求No.をセットする
- 2-4. 元請求No.  
情報を訂正/取消する場合の元の倉庫料(保管料)請求No.(2-3. )をセットする
- 2-5. 請求区分  
情報の訂正/取消(赤黒区分)を表すコードを選択する  
△：通常 1：取消 2：取消修正(黒)
- 2-6. 訂正理由区分  
情報の訂正/取消の理由を表すコードを選択する  
△：正常 1：数量訂正 2：品名訂正 3：単価訂正 4：重複訂正 9：その他
- 2-7. 訂正理由  
情報の訂正/取消の理由をが50文字以内でセットする  
漢字を使用する場合、25文字以内でセットする  
(漢字を使用する場合、JIS第一、第二水準の範囲とし外字は使用しない)
- 2-8. 日本語区分  
2-7. 訂正理由がが表現か、漢字表現か、を選択する  
△：が表現 1：漢字表現
- 2-9. 請求年月日  
代金を請求する年月日をYYYYMMDDの形式でセットする
- 2-10. 元請求年月日  
情報の訂正/取消時、元の請求年月日(2-9. )をYYYYMMDDの形式でセットする
- 2-11. 請求対象開始年月日  
請求対象となる開始年月日をYYYYMMDDの形式でセットする
- 2-12. 請求対象終了年月日  
請求対象となる終了年月日をYYYYMMDDの形式でセットする
- 2-13. 決済年月日  
代金の支払日をYYYYMMDDの形式でセットする
- 2-14. 決済方法  
決済方法を表すコードを選択する  
△：現金 1：手形 2：口座振替 9：その他
- 2-15. 請求内容区分  
請求内容(種類)を表すコードを選択する  
△：通常 1：一括 2：出切れ 3：名義変更 4：坪借 9：その他(在庫証明)

## 2-16. 請求内容区分

請求明細の集計期間の区分を選択する

1：月次 2：上下期(二期) 3：上中下期(三期)

※ 「1：月次」を選択の場合、集計は、6. 倉庫料(保管料)請求明細レコード(1)の「一期分」を使用

※ 「2：上下期(二期)」を選択の場合、集計は、6. 倉庫料(保管料)請求明細レコード(1)の「一期分」および「二期分」を使用

※ 「3：上中下期(三期)」を選択の場合、集計は、6. 倉庫料(保管料)請求明細レコード(1)の「一期分」、「二期分」、および6. 倉庫料(保管料)請求明細レコード(2)の「三期分」を使用

条件欄 ◎：必須 ○：選択必須 △：任意

No	Content	条件	Col	Picture	Format	Length	Description
1	レコード区分	◎	1	X(01)	CH	1	レコードの種類を表す「3」
2	データシリアルNo.	◎	2	9(07)	ZD	7	データ通しNo. ファイルヘッダー単位で1番より付番
3	入庫依頼元企業コード	◎	9	X(12)	CH	12	入庫依頼元企業(寄託者)を表すコード
4	入庫依頼元企業所属コード	△	21	X(12)	CH	12	入庫依頼元企業(寄託者)の担当者の所属等を表すコード
5	入庫依頼元企業担当者コード	△	33	X(12)	CH	12	入庫依頼元企業(寄託者)の担当者を表すコード
6	請求元企業コード	◎	45	X(12)	CH	12	請求元企業(倉庫事業者)を表すコード
7	請求元企業倉庫コード	△	57	X(12)	CH	12	請求元企業(倉庫事業者)の倉庫を表すコード
8	請求元企業所属コード	△	69	X(12)	CH	12	請求元企業(倉庫事業者)の担当者の所属等を表すコード
9	請求元企業担当者コード	△	81	X(12)	CH	12	請求元企業(倉庫事業者)の担当者を表すコード
10	請求先企業コード	◎	93	X(12)	CH	12	運賃等の請求先企業を表すコード (支払側企業のコード)
11	請求先企業所属コード	△	105	X(12)	CH	12	請求先企業の担当者の所属等を表すコード
12	余白		117	X(12)	CH	12	

## 3-1. レコード区分

伝票ヘッダーレコード(2)であることを認識する。固定で「3」をセットする。

## 3-2. データシリアルNo.

ファイルヘッダー単位のデータ通しナンバーをセットする

## 3-3. 入庫依頼元企業コード

入庫依頼元企業(寄託者)を表すコードをセットする

## 3-4. 入庫依頼元企業所属コード

入庫依頼元企業(寄託者)の担当者の所属等を表すコードをセットする

## 3-5. 入庫依頼元企業担当者コード

入庫依頼元企業(寄託者)の担当者を表すコードをセットする

## 3-6. 請求元企業コード

請求元企業(倉庫事業者)を表すコードをセットする

## 3-7. 請求元企業倉庫コード

請求元企業(倉庫事業者)の倉庫を表すコードをセットする

- 3-8. 請求元企業所属コード  
請求元企業(倉庫事業者)の担当者の所属等を表すコードをセットする
- 3-9. 請求元企業担当者コード  
請求元企業（倉庫事業者）の担当者を表すコードをセットする
- 3-10. 請求先企業コード  
代金等の請求先企業を表すコード(支払側企業のコード)をセットする
- 3-11. 請求先企業所属コード  
請求先企業の担当者の所属等を表すコードをセットする

条件欄 ◎：必須 ○：選択必須 △：任意

No	Content	条件	Col	Picture	Format	Length	Description
1	レコード区分	◎	1	X(01)	CH	1	レコードの種類を表す「4」
2	データシリアルNo.	◎	2	9(07)	ZD	7	データ通しNo. ファイルヘッダー単位で1番より付番
3	課税分請求額合計	△	9	S9(10)	ZD	10	課税対象金額の合計
4	その他請求金額(課税分)	△	19	S9(08)	ZD	8	No.3「課税分請求額合計」の内、 請求明細レコードの情報がないもの
5	税率	△	27	9(02)V2	ZD	4	消費税率を表す
6	税額	△	31	S9(10)	ZD	10	No.3「課税分請求額合計」に対する消費税額を表す
7	免税分請求額合計	△	41	S9(10)	ZD	10	免税対象金額の合計
8	その他請求金額(免税分)	△	51	S9(08)	ZD	8	No.7「免税分請求額合計」の内、 請求明細レコードの情報がないもの
9	請求合計額	◎	59	S9(10)	ZD	10	No.3「課税分請求額合計」 + No.7「免税分請求額合計」 + No.6「税額」
10	備考	△	69	X(58)	CH	58	請求単位の備考 か58文字、漢字29文字
11	日本語区分	○	127	X(01)	CH	1	△：か表現 1：漢字表現
12	余白		128	X(01)	CH	1	

## 4-1. レコード区分

伝票ヘッダーレコード(3)であることを認識する。固定で「4」をセットする。

## 4-2. データシリアルNo.

ファイルヘッダー単位のデータ通しナンバーをセットする

## 4-3. 課税分請求額合計

課税対象金額の合計額をセットする

## 4-4. その他請求金額(課税分)

4-3. 課税分請求額合計の内、請求明細レコードの情報がないものの合計額をセットする

## 4-5. 税率

消費税率をセットする

## 4-6. 税額

4-3. 課税分請求額合計に対する消費税額をセットする

## 4-7. 免税分請求額合計

免税対象金額の合計額をセットする

4-8. その他請求金額(免税分)

4-7. 免税分請求額合計の内、請求明細レコードの情報がないものの合計額をセットする

4-9. 請求合計額

請求金額合計をセットする

請求合計額 = 4-3. 課税分請求額合計 + 4-7. 免税分請求額合計 + 4-6. 税額

4-10. 備考

請求単位の備考をが58文字以内でセットする

漢字を使用する場合、29文字以内でセットする

(漢字を使用する場合、JIS第一, 第二水準の範囲とし外字は使用しない)

4-11. 日本語区分

4-10. 備考がが表現か、漢字表現か、を選択する

△ : が表現 1 : 漢字表現

条件欄 ◎：必須 ○：選択必須 △：任意

No	Content	条件	Col	Picture	Format	Length	Description
1	レコード区分	◎	1	X(01)	CH	1	レコードの種類を表す「5」
2	データシリアルNo.	◎	2	9(07)	ZD	7	データ通しNo. ファイルヘッダー単位で1番より付番
3	入庫依頼元企業名	△	9	X(20)	CH	20	入庫依頼元企業の名称 「3. 伝票ヘッダーレコード(2)」の No.3「入庫依頼元企業コード」に対応する名称 か20文字、漢字10文字
4	入庫依頼元企業所属名	△	29	X(20)	CH	20	入庫依頼元企業所属の名称 「3. 伝票ヘッダーレコード(2)」の No.4「入庫依頼元企業所属コード」に対応する名称 か20文字、漢字10文字
5	請求元企業名	△	49	X(28)	CH	28	請求元企業の名称 「3. 伝票ヘッダーレコード(2)」の No.6「請求元企業コード」に対応する名称 か28文字、漢字14文字
6	請求元企業倉庫名	△	77	X(30)	CH	30	請求元企業倉庫の名称 「3. 伝票ヘッダーレコード(2)」の No.7「請求元企業倉庫コード」に対応する名称 か30文字、漢字15文字
7	請求先企業名	△	107	X(20)	CH	20	請求先企業の名称 「3. 伝票ヘッダーレコード(2)」の No.10「請求先企業コード」に対応する名称 か20文字、漢字10文字
8	日本語区分	○	127	X(01)	CH	1	△：か表現 1：漢字表現
9	余白		128	X(05)	CH	1	

## 5-1. レコード区分

伝票ヘッダーオプションレコードであることを認識する。固定で「5」をセットする。

## 5-2. データシリアルNo.

ファイルヘッダー単位のデータ通しナンバーをセットする

## 5-3. 入庫依頼元企業名

入庫依頼元企業の名称をか20文字以内でセットする

漢字を使用する場合、10文字以内でセットする

(漢字を使用する場合、JIS第一、第二水準の範囲とし外字は使用しない)

※ 「3. 伝票ヘッダーレコード(2)」のNo.3「入庫依頼元企業コード」に対応する名称

#### 5-4. 入庫依頼元企業所属名

入庫依頼元企業の所属の名称を20文字以内でセットする

漢字を使用する場合、10文字以内でセットする

(漢字を使用する場合、JIS第一、第二水準の範囲とし外字は使用しない)

※ 「3. 伝票ヘッダーレコード(2)」のNo.4「入庫依頼元企業所属コード」に対応する名称

#### 5-5. 請求元企業名

請求元企業の名称を28文字以内でセットする

漢字を使用する場合、14文字以内でセットする

(漢字を使用する場合、JIS第一、第二水準の範囲とし外字は使用しない)

※ 「3. 伝票ヘッダーレコード(2)」のNo.6「請求元企業コード」に対応する名称

#### 5-6. 請求元企業倉庫名

請求元企業の倉庫の名称を30文字以内でセットする

漢字を使用する場合、15文字以内でセットする

(漢字を使用する場合、JIS第一、第二水準の範囲とし外字は使用しない)

※ 「3. 伝票ヘッダーレコード(2)」のNo.7「請求元企業倉庫コード」に対応する名称

#### 5-7. 請求先企業名

請求先企業の名称を20文字以内でセットする

漢字を使用する場合、10文字以内でセットする

(漢字を使用する場合、JIS第一、第二水準の範囲とし外字は使用しない)

※ 「3. 伝票ヘッダーレコード(2)」のNo.10「請求先企業コード」に対応する名称

#### 5-8. 日本語区分

5-3. 入庫依頼元企業名、5-4. 入庫依頼元企業所属名、5-5. 請求元企業名、

5-6. 請求元企業倉庫名、5-7. 請求先企業名が加表現か、漢字表現か、を選択する

△：加表現 1：漢字表現

条件欄 ◎：必須 ○：選択必須 △：任意

No	Content	条件	Col	Picture	Format	Length	Description
1	レコード区分	◎	1	X(01)	CH	1	レコードの種類を表す「6」
2	データシリアルNo.	◎	2	9(07)	ZD	7	データ通しNo. ファイルヘッダー単位で1番より付番
3	明細行No.	◎	9	9(04)	ZD	4	請求明細の行番号
4	商品コード	◎	13	X(16)	CH	16	商品を表すコード
5	計量区分	◎	29	X(01)	CH	1	計量の種別を表すコード 1：数量計算商品(定費) 2：重量計算商品(不定費)
6	単位区分	△	30	X(01)	CH	1	商品の計算基準となる単位を表すコード 1：数量 2：キログラム 3：ポンド 4：リットル 5：平方メートル 6：坪 7：立方メートル 9：その他
7	保管料料率	△	31	9(03)V2	ZD	5	No.6「単位区分」で指定した単位あたりの料率
8	保管料税区分	△	36	X(01)	CH	1	保管料の課税区分 △：課税 1：免税
9	一期繰越残数量	△	37	S9(04)	ZD	4	前期から第一期に繰り越された数量(合わせの数、またはケース数)
10	一期繰越残重量・容量等	△	41	S9(06)V3	ZD	9	前期から第一期に繰り越された分の重量、容量、容積、等
11	一期入庫数量	△	50	S9(04)	ZD	4	第一期分の総入庫数量(合わせの数、またはケース数)
12	一期入庫重量・容量等	△	54	S9(06)V3	ZD	9	第一期分の単位区分あたりの総入庫重量、容量、容積、等
13	一期出庫数量	△	63	S9(04)	ZD	4	第一期分の総出庫数量(合わせの数、またはケース数)
14	一期出庫重量・容量等	△	67	S9(06)V3	ZD	9	第一期分の単位区分あたりの総出庫重量、容量、容積、等
15	一期保管料	△	76	S9(07)	ZD	7	第一期分の保管料 ※ 一般的な保管料の計算式 No.7「保管料料率」×(No.9「一期繰越残数量」+No.11「一期入庫数量」)
16	二期繰越残数量	△	83	S9(04)	ZD	4	第一期から第二期に繰り越された数量(合わせの数、またはケース数)
17	二期繰越残重量・容量等	△	87	S9(06)V3	ZD	9	第一期から第二期に繰り越された分の重量、容量、容積、等

No	Content	条件	Col	Picture	Format	Length	Description
18	二期入庫数量	△	96	S9(04)	Z D	4	第二期分の総入庫数量(合わせの数、またはケース数)
19	二期入庫重量・容量等	△	100	S9(06)V3	Z D	9	第二期分の単位区分あたりの総入庫重量、容量、容積、等
20	二期出庫数量	△	109	S9(04)	Z D	4	第二期分の総出庫数量(合わせの数、またはケース数)
21	二期出庫重量・容量等	△	113	S9(06)V3	Z D	9	第二期分の単位区分あたりの総出庫重量、容量、容積、等
22	二期保管料	△	122	S9(07)	Z D	7	第二期分の保管料 ※ 一般的な保管料の計算式 No.7「保管料料率」×(No.14「二期繰越残数量」+ No.16「二期入庫数量」)

#### 6-1. レコード区分

倉庫料(保管料)請求明細レコード(1)であることを認識する。固定で「6」をセットする。

#### 6-2. データシリアルNo.

ファイルヘッダー単位のデータ通しナンバーをセットする

#### 6-3. 明細行No.

請求明細の行番号をセットする

#### 6-4. 商品コード

商品を表すコードをセットする

#### 6-5. 計量区分

計量の種別を表すコードを選択する

1 : 数量計算商品(定費) 2 : 重量計算商品(不定費)

#### 6-6. 単位区分

商品の計算基準となる単位を表すコードを選択する

1 : 数量 2 : キログラム 3 : ポンド 4 : リットル 5 : 平方メートル 6 : 坪  
7 : 立方メートル 9 : その他

#### 6-7. 保管料料率

6-6. 単位区分で指定した単位あたりの料率をセットする

#### 6-8. 保管料税区分

保管料の課税区分を選択する

△ : 課税 1 : 免税

#### 6-9. 一期繰越残数量

前期から第一期に繰り越された数量(合わせの数、またはケース数)をセットする

- 6-10. 一期繰越残重量・容量等  
前期から第一期に繰り越された分の重量、容量、容積、等をセツトする
- 6-11. 一期入庫数量  
第一期分の総入庫数量(合わせの数、またはケース数)をセツトする
- 6-12. 一期入庫重量・容量等  
第一期分の単位区分あたりの総入庫重量、容量、容積、等をセツトする
- 6-13. 一期出庫数量  
第一期分の総出庫数量(合わせの数、またはケース数)をセツトする
- 6-14. 一期出庫重量・容量等  
第一期分の単位区分あたりの総出庫重量、容量、容積、等をセツトする
- 6-15. 一期保管料  
第一期分の保管料をセツトする  
※ 一般的な保管料の計算式  
6-7. 保管料料率 × ( 6-9. 一期繰越残数量 + 6-11. 一期入庫数量 )
- 6-16. 二期繰越残数量  
第一期から第二期に繰り越された数量(合わせの数、またはケース数)をセツトする
- 6-17. 二期繰越残重量・容量等  
第一期から第二期に繰り越された分の重量、容量、容積、等をセツトする
- 6-18. 二期入庫数量  
第二期分の総入庫数量(合わせの数、またはケース数)をセツトする
- 6-19. 二期入庫重量・容量等  
第二期分の単位区分あたりの総入庫重量、容量、容積、等をセツトする
- 6-20. 二期出庫数量  
第二期分の総出庫数量(合わせの数、またはケース数)をセツトする
- 6-21. 二期出庫重量・容量等  
第二期分の単位区分あたりの総出庫重量、容量、容積、等をセツトする
- 6-22. 二期保管料  
第二期分の保管料をセツトする  
※ 一般的な保管料の計算式  
6-7. 保管料料率 × ( 6-14. 二期繰越残数量 + 6-16. 二期入庫数量 )

※：条件とは、伝票ヘッダーレコード(1)のNo.16「請求期区分」で「3：上中下期(三期)」を選択した場合

条件欄 ◎：必須 ○：選択必須 △：任意

No	Content	条件	Col	Picture	Format	Length	Description
1	レコード区分	◎	1	X(01)	CH	1	レコードの種類を表す「7」
2	データシリアルNo.	◎	2	9(07)	ZD	7	データ通しNo. ファイルヘッダー単位で1番より付番
3	三期繰越残数量	△	9	S9(04)	ZD	4	第二期から第三期に繰り越された数量(合わせの数、またはケース数)
4	三期繰越残重量・容量等	△	13	S9(06)V3	ZD	9	第二期から第三期に繰り越された分の重量、容量、容積、等
5	三期入庫数量	△	22	S9(04)	ZD	4	第三期分の総入庫数量(合わせの数、またはケース数)
6	三期入庫重量・容量等	△	26	S9(06)V3	ZD	9	第三期分の単位区分あたりの総入庫重量、容量、容積、等
7	三期出庫数量	△	35	S9(04)	ZD	4	第三期分の総出庫数量(合わせの数、またはケース数)
8	三期出庫重量・容量等	△	39	S9(06)V3	ZD	9	第三期分の単位区分あたりの総出庫重量、容量、容積、等
9	三期保管料	△	48	S9(07)	ZD	7	第三期分の保管料 ※ 一般的な保管料の計算式 6. 倉庫料(保管料)請求明細レコード(1) / No.7「保管料料率」×(No.4「三期繰越残数量」+ No.6「三期入庫数量」)
10	サービス区分	△	55	X(02)	CH	2	日割などの割引区分(当事者間で決定)
11	余白		57	X(72)	CH	72	

#### 6-1. レコード区分

倉庫料(保管料)請求明細レコード(2)であることを認識する。固定で「7」をセットする。

#### 6-2. データシリアルNo.

ファイルヘッダー単位のデータ通しナンバーをセットする

#### 6-3. 三期繰越残数量

第二期から第三期に繰り越された数量(合わせの数、またはケース数)をセットする

#### 6-4. 三期繰越残重量・容量等

第二期から第三期に繰り越された分の重量、容量、容積、等をセットする

#### 6-5. 三期入庫数量

第三期分の総入庫数量(合わせの数、またはケース数)をセットする

6-6. 三期入庫重量・容量等

第三期分の単位区分あたりの総入庫重量、容量、容積、等をセットする

6-7. 三期出庫数量

第三期分の総出庫数量(合わせの数、またはケース数)をセットする

6-8. 三期出庫重量・容量等

第三期分の単位区分あたりの総出庫重量、容量、容積、等をセットする

6-9. 三期保管料

第三期分の保管料をセットする

※ 一般的な保管料の計算式

6. 倉庫料(保管料)請求明細レコード(1) / No.7「保管料料率」  
× ( 6-4. 三期繰越残数量 + 6-6. 三期入庫数量 )

6-10. サービス区分

日割などの割引区分(当事者間で決定)をセットする

条件欄 ◎：必須 ○：選択必須 △：任意

No	Content	条件	Col	Picture	Format	Length	Description
1	レコード区分	◎	1	X(01)	CH	1	レコードの種類を表す「8」
2	データシリアルNo.	◎	2	9(07)	ZD	7	データ通しNo. ファイルヘッダー単位で1番より付番
3	商品名	△	9	X(60)	CH	60	商品名称 か60文字、漢字30文字
4	荷印名	△	69	X(20)	CH	20	商品の荷印またはブランド か20文字、漢字10文字
5	メッセージ	△	89	X(38)	CH	38	明細単位の備考 か38文字、漢字19文字
6	日本語区分	○	127	X(01)	CH	1	△：か表現 1：漢字表現
7	余白		128	X(01)	CH	1	

## 8-1. レコード区分

倉庫料(保管料)請求明細オプションレコードであることを認識する。固定で「8」をセットする。

## 8-2. データシリアルNo.

ファイルヘッダー単位のデータ通しナンバーをセットする

## 8-3. 商品名

商品の名称をか60文字以内でセットする

漢字を使用する場合、30文字以内でセットする

(漢字を使用する場合、JIS第一、第二水準の範囲とし外字は使用しない)

## 8-4. 荷印名

商品の荷印またはブランドをか20文字以内でセットする

漢字を使用する場合、10文字以内でセットする

(漢字を使用する場合、JIS第一、第二水準の範囲とし外字は使用しない)

## 8-5. 備考

明細単位の備考をか38文字以内でセットする

漢字を使用する場合、19文字以内でセットする

(漢字を使用する場合、JIS第一、第二水準の範囲とし外字は使用しない)

## 8-6. 日本語区分

8-3. 商品名、8-4. 荷印名、8-5. 備考がか表現か、漢字表現か、を選択する

△：か表現 1：漢字表現

条件欄 ◎：必須 ○：選択必須 △：任意

No	Content	条件	Col	Picture	Format	Length	Description
1	レコード区分	◎	1	X(01)	CH	1	レコードの種類を表す「9」
2	データシリアルNo.	◎	2	9(07)	ZD	7	データ通しNo. ファイルヘッダー単位で1番より付番
3	荷役料料率	△	9	9(03)V2	ZD	5	6. 倉庫料(保管料)請求明細レコード(1)／ No.6「単位区分」で指定した単位あたりの料率
4	荷役数量	△	14	S9(05)	ZD	5	荷役料の対象となる荷役数量(合わせの数、または ケース数)
5	荷役重量・容量等	△	19	S9(07)V3	ZD	10	荷役料の対象となる荷役重量、容量、容積、等
6	荷役料	△	29	S9(07)	ZD	7	荷役個数に対する荷役料
7	荷役料税区分	△	36	X(01)	CH	1	荷役料の課税区分 △：課税 1：免税
8	戻り入庫料率	△	37	9(03)V2	ZD	5	6. 倉庫料(保管料)請求明細レコード(1)／ No.6「単位区分」で指定した単位あたりの料率
9	戻り入庫数量	△	42	S9(05)	ZD	5	戻り入庫の対象となる数量(合わせの数、またはケ- ス数)
10	戻り入庫重量・容量等	△	47	S9(07)V3	ZD	10	戻り入庫の対象となる重量、容量、容積、等
11	戻り入庫金額(課税分)	△	57	S9(07)	ZD	7	戻り入庫金額の内、課税分
12	戻り入庫金額(免税分)	△	64	S9(07)	ZD	7	戻り入庫金額の内、免税分
13	時間外出庫料率	△	71	9(03)V2	ZD	5	6. 倉庫料(保管料)請求明細レコード(1)／ No.6「単位区分」で指定した単位あたりの料率
14	時間外出庫数量	△	76	S9(05)	ZD	5	時間外出庫の対象となる数量(合わせの数、またはケ- ス数)
15	時間外出庫重量・容量等	△	81	S9(07)V3	ZD	10	時間外出庫の対象となる重量、容量、容積、等
16	時間外出庫金額(課税分)	△	91	S9(07)	ZD	7	時間外出庫金額の内、課税分
17	時間外出庫金額(免税分)	△	98	S9(07)	ZD	7	時間外出庫金額の内、免税分
18	分割出庫料料率	△	105	9(03)V2	ZD	5	6. 倉庫料(保管料)請求明細レコード(1)／ No.6「単位区分」で指定した単位あたりの料率
19	分割出庫料回数	△	110	9(05)	ZD	5	分割出庫した回数
20	分割出庫料(課税分)	△	115	S9(07)	ZD	7	分割出庫した回数にかかる金額の、課税分
21	分割出庫料(免税分)	△	122	S9(07)	ZD	7	分割出庫した回数にかかる金額の、免税分

## 9-1. レコード区分

倉庫料(荷役料他)請求明細レコードであることを認識する。固定で「9」をセットする。

## 9-2. データシリアルNo.

ファイルヘッダー単位のデータ通しナンバーをセットする

9-3. 荷役料料率

6. 倉庫料(保管料)請求明細レコード(1)のNo.6「単位区分」で指定した単位あたりの料率をセットする

9-4. 荷役数量

荷役料の対象となる荷役数量(合わせの数、またはケース数)をセットする

9-5. 荷役重量・容量等

荷役料の対象となる荷役重量、容量、容積、等をセットする

9-6. 荷役料

荷役個数に対する荷役料をセットする

9-7. 荷役料税区分

荷役料の課税区分を選択する

△：課税 1：免税

9-8. 戻り入庫料率

6. 倉庫料(保管料)請求明細レコード(1)のNo.6「単位区分」で指定した単位あたりの料率をセットする

9-9. 戻り入庫数量

戻り入庫の対象となる数量(合わせの数、またはケース数)をセットする

9-10. 戻り入庫重量・容量等

戻り入庫の対象となる重量、容量、容積、等をセットする

9-11. 戻り入庫金額(課税分)

戻り入庫金額の内、課税分の金額をセットする

9-12. 戻り入庫金額(免税分)

戻り入庫金額の内、免税分の金額をセットする

9-13. 時間外出庫料率

6. 倉庫料(保管料)請求明細レコード(1)のNo.6「単位区分」で指定した単位あたりの料率をセットする

9-14. 時間外出庫数量

時間外出庫の対象となる数量(合わせの数、またはケース数)をセットする

9-15. 時間外出庫重量・容量等

時間外出庫の対象となる重量、容量、容積、等をセットする

9-16. 時間外出庫金額(課税分)

時間外出庫金額の内、課税分の金額をセットする

9-17. 時間外出庫金額(免税分)

時間外出庫金額の内、免税分の金額をセットする

9-18. 分割出庫料料率

6. 倉庫料(保管料)請求明細レコード(1)のNo.6「単位区分」で指定した単位あたりの料率をセットする

9-19. 分割出庫料回数

分割出庫した回数をセットする

9-20. 分割出庫料(課税分)

分割出庫した回数にかかる金額の課税分をセットする

9-21. 分割出庫料(免税分)

分割出庫した回数にかかる金額の免税分をセットする

条件欄 ◎：必須 ○：選択必須 △：任意

No	Content	条件	Col	Picture	Format	Length	Description
1	レコード区分	◎	1	X(01)	CH	1	レコードの種類を表す「A」
2	データシリアルNo.	◎	2	9(07)	ZD	7	データ通しNo. ファイルヘッダー単位で1番より付番
3	諸掛1名目	△	9	X(20)	CH	20	諸掛1の具体的な名目 か20文字、漢字10文字
4	諸掛1料率	△	29	9(03)V2	ZD	5	6. 倉庫料(保管料)請求明細レコード(1)／ No.6「単位区分」で指定した単位あたりの料率
5	諸掛1数量	△	34	S9(05)	ZD	5	諸掛1の対象となる数量(合わせの数、またはケース数)
6	諸掛1重量・容量等	△	39	S9(07)V3	ZD	10	諸掛1の対象となる重量、容量、容積、等
7	諸掛1金額(課税分)	△	49	S9(07)	ZD	7	諸掛1に対する金額の内、課税分
8	諸掛1金額(免税分)	△	56	S9(07)	ZD	7	諸掛1に対する金額の内、免税分
9	諸掛2名目	△	63	X(20)	CH	20	諸掛2の具体的な名目 か20文字、漢字10文字
10	諸掛2料率	△	83	9(03)V2	ZD	5	6. 倉庫料(保管料)請求明細レコード(1)／ No.6「単位区分」で指定した単位あたりの料率
11	諸掛2数量	△	88	S9(05)	ZD	5	諸掛2の対象となる数量(合わせの数、またはケース数)
12	諸掛2重量・容量等	△	93	S9(07)V3	ZD	10	諸掛2の対象となる重量、容量、容積、等
13	諸掛2金額(課税分)	△	103	S9(07)	ZD	7	諸掛2に対する金額の内、課税分
14	諸掛2金額(免税分)	△	110	S9(07)	ZD	7	諸掛2に対する金額の内、免税分
15	日本語区分	○	117	X(01)	CH	1	△：か表現 1：漢字表現
16	余白		118	X(11)	CH	11	

## 10-1. レコード区分

その他諸掛請求明細レコードであることを認識する。固定で「A」をセットする。

## 10-2. データシリアルNo.

ファイルヘッダー単位のデータ通しナンバーをセットする

## 10-3. 諸掛1名目

諸掛1の具体的な名目をか20文字以内でセットする

漢字を使用する場合、10文字以内でセットする

(漢字を使用する場合、JIS第一、第二水準の範囲とし外字は使用しない)

## 10-4. 諸掛1料率

6. 倉庫料(保管料)請求明細レコード(1)のNo.6「単位区分」で指定した単位あたりの料率をセットする

- 10-5. 諸掛1数量  
諸掛1の対象となる数量(合わせの数、またはケース数)をセットする
- 10-6. 諸掛1重量・容量等  
諸掛1の対象となる重量、容量、容積、等をセットする
- 10-7. 諸掛1金額(課税分)  
諸掛1に対する金額の内、課税分をセットする
- 10-8. 諸掛1金額(免税分)  
諸掛1に対する金額の内、免税分をセットする
- 10-9. 諸掛2名目  
諸掛2具体的な名目をか20文字以内でセットする  
漢字を使用する場合、10文字以内でセットする  
(漢字を使用する場合、JIS第一、第二水準の範囲とし外字は使用しない)
- 10-10. 諸掛2料率  
6. 倉庫料(保管料)請求明細レコード(1)のNo.6「単位区分」で指定した単位あたりの料率をセットする
- 10-11. 諸掛2数量  
諸掛2の対象となる数量(合わせの数、またはケース数)をセットする
- 10-12. 諸掛2重量・容量等  
諸掛2の対象となる重量、容量、容積、等をセットする
- 10-13. 諸掛2金額(課税分)  
諸掛2に対する金額の内、課税分をセットする
- 10-14. 諸掛2金額(免税分)  
諸掛2に対する金額の内、免税分をセットする
- 10-15. 日本語区分  
10-3. 諸掛1名目、10-9. 諸掛2名目がか表現か、漢字表現か、を選択する  
△：か表現 1：漢字表現

条件欄 ◎：必須 ○：選択必須 △：任意

No	Content	条件	Col	Picture	Format	Length	Description
1	レコード区分	◎	1	X(01)	CH	1	レコードの種類を表す「B」
2	データシリアルNo.	◎	2	9(07)	ZD	7	データ通しNo. ファイルヘッダー単位で1番より付番
3	入庫No.	◎	9	X(13)	CH	13	商品の入庫時に振られるロットNo.を表す
4	入庫年月日	◎	22	X(08)	CH	8	商品が入庫した年月日(YYYYMMDD)
5	入庫数量	◎	30	S9(05)	ZD	5	商品が入庫したときの数量(合わせの数、またはケース数)
6	入庫重量・容量等	△	35	S9(07)V3	ZD	10	商品が入庫したときの重量、容量、容積、等
7	余白		45	X(84)	CH	84	

## 11-1. レコード区分

11. 入庫明細オプションレコードであることを認識する。固定で「B」をセットする。

## 11-2. データシリアルNo.

ファイルヘッダー単位のデータ通しナンバーをセットする

## 11-3. 入庫No.

商品の入庫時に付番されるロットNo.をセットする

## 11-4. 入庫年月日

入庫した年月日をYYYYMMDDの形式でをセットする

## 11-5. 入庫数量

商品が入庫したときの数量(合わせの数、またはケース数)をセットする

## 11-6. 入庫重量・容量等

商品が入庫したときの重量、容量、容積、等をセットする

条件欄 ◎：必須 ○：選択必須 △：任意

No	Content	条件	Col	Picture	Format	Length	Description
1	レコード区分	◎	1	X(01)	CH	1	レコードの種類を表す「C」
2	データシリアルNo.	◎	2	9(07)	ZD	7	データ通しNo. ファイルヘッダー単位で1番より付番
3	出庫年月日	◎	9	X(08)	CH	8	商品を出庫した年月日(YYYYMMDD)
4	出庫数量	◎	17	S9(05)	ZD	5	出庫した商品の数量(合わせの数、またはケース数)
5	出庫端数	△	22	S9(03)	ZD	3	1合わせに満たない出庫をした場合の端数
6	出庫単位重量	△	25	S9(07)V3	ZD	10	出庫した商品の単位重量
7	出庫重量・容量等	△	35	S9(07)V3	ZD	10	出庫した商品の重量、容量、容積、等
8	平均単量	△	45	S9(06)V3	ZD	9	当該商品の1個口の平均重量
9	余白		54	X(75)	CH	75	

## 12-1. レコード区分

1 2. 出庫明細オプションレコードであることを認識する。固定で「C」をセットする。

## 12-2. データシリアルNo.

ファイルヘッダー単位のデータ通しナンバーをセットする

## 12-3. 出庫年月日

商品を出庫した年月日をYYYYMMDDの形式でをセットする

## 12-4. 出庫数量

出庫した商品の数量(合わせの数、またはケース数)をセットする

## 12-5. 出庫端数

1合わせに満たない出庫をした場合の端数をセットする

## 12-6. 出庫単位重量

出庫した商品の単位重量をセットする

## 12-7. 出庫重量・容量等

出庫した商品の重量、容量、容積、等をセットする

## 12-8. 平均単量

当該商品の1個口の平均重量をセットする

条件欄 ◎：必須 ○：選択必須 △：任意

No	Content	条件	Col	Picture	Format	Length	Description
1	レコード区分	◎	1	X(01)	CH	1	レコードの種類を表わす「D」
2	データシリアルNo.	◎	2	9(07)	ZD	7	データ通しNo. ファイルヘッダー単位で1番より付番
3	レコード件数	◎	9	9(06)	ZD	6	1つのファイル(ファイルヘッダー単位)に含まれるファイルヘッダーからエンドレコードまでを含んだレコード数
4	余白		15	X(114)	CH	114	

## 13-1. レコード区分

エンドレコードであることを認識する。固定で「D」をセットする。

## 13-2. データシリアルNo.

ファイルヘッダー単位のデータ通しナンバーをセットする